

SADOワーケーション受入体制構築業務 令和5年度以降のSADOワーケーション 受入促進のためのロードマップ°



2023年3月24日

1. ロードマップ制作の概要

- (1) SADOワーケーション推進にあたり P.03
- (2) ロードマップ制作手順 P.04
- (3) 実施スケール P.05

2. 環境分析・戦略策定

- (1) マーケティング調査 P.07
 - ※企業へのヒアリング削除
- (2) SWOT分析 P.66
- (3) 戦略骨子 P.67
- (4) ターゲット設定 P.68
- (5) ワーケーション受入施設調査 P.69

3. 具体的な取組案

- (1) 取組概要 P.87
- (2) 実施体制案 P.89
- (3) SADOワーケーションのロードマップ P.90
- (4) SADOワーケーション移住に向けたステップ P.91
- (5) SADOワーケーションの具体策 P.92
- (6) SADO PORT LOUNGEの活用 P.96

4. SADO PORT LOUNGEフィジビリティスタディ

- (1) SADO PORT LOUNGE利用価値創出のための実証実験 P.99

1. ロードマップ制作の概要

1. ロードマップ制作の概要

(1) SADOワーケーション推進にあたり

観光庁がまとめた「新たな旅のスタイル」ワーケーション・プレジャー企業向けパンフレット（簡易版）によると、ワーケーションとは「テレワーク等を活用し、リゾート地や温泉地、国立公園等、普段の職場とは異なる場所で余暇を楽しみつつ仕事を行うこと」と定義づけられている。同時に同パンフレットによる実施形態（イメージ）は下記の通り整理されている。

実施形態（イメージ）



出所：観光庁「新たな旅のスタイル」ワーケーション&プレジャー 企業向けパンフレット

これによると、ワーケーションは大きく「休暇型」「業務型」に区分され、「休暇型」には「福利厚生型」、「業務型」には「地域課題解決型」「合宿型」「サテライトオフィス型」とそれぞれ分類化される。また、ワーケーションには4方向にステークホルダーがあり、いわゆる「**四方よし**」の考え方で進めていくことが必要であることがわかる。

<ワーケーションのステークホルダー>

①企業（送り手側）

- ・ 有給休暇の取得促進
- ・ 所属意識の向上
- ・ 人材流出の抑止と人の確保イノベーションの創出
- ・ CSR、SDGsの取組みによる企業価値の向上地域との関係性構築によるBCP対策
- ・ 地方創生への寄与開発

②従業員（利用者）

- ・ 長期休暇が取得しやすくなる働き方の選択肢の増加
- ・ ストレス軽減やリフレッシュ効果モチベーションの向上
- ・ 業務効率の向上
- ・ リモートワークの促進
- ・ 新たな出会いやアイデアの創出

③行政・地域（受け手側）

- ・ 平日の旅行需要の創出
- ・ 交流人口および関係人口の増加
- ・ 関連事業の活性化、雇用創出
- ・ 企業との関係性構築
- ・ 遊休施設等の有効活用

④関連事業者（受け手側）

- ・ 事業拡大および雇用創出
- ・ 受入地域（行政）との関係性向上自社のソリューション開発

出所：観光庁「新たな旅のスタイル」ワーケーション&プレジャー 企業向けパンフレット

OSADOワーケーション推進基本方針

以上のことから、SADOワーケーション推進にあたっては、ワーケーションを実現することによる効果やメリットを、4方向のステークホルダーに対して如何に提供できるかといった視点から推進することとし、SADOワーケーションの推進が「**四方よし**」の状態を生み出すことを理念に掲げる。

1. ロードマップ制作の概要

(2) ロードマップ制作手順

ロードマップの制作にあたっては、ワーケーション利用者及び送り手側（企業）、インバウンド市場におけるワーケーションの環境を把握し、SADOワーケーション推進の基本戦略を策定した。

そのうえで、佐渡市内のワーケーション受入施設調査及びターゲット分析を進め、具体的な取組案に落とし込んでいる。

(1) SADO ワケーションにおけるマーケティング業務

- ✓ 佐渡市と連携協定締結した企業を中心とした国内企業へのヒアリング調査
- ✓ インバウンド需要を視野に入れたデスクリサーチ

SWOT分析



SADOワーケーションのビジョン・戦略策定

(2) ワケーション関連資源・施設調査

- ✓ 戦略骨子に沿った受入可能な施設のリストアップ
- ✓ ワケーションと付随した体験プログラムの整理

(3) ターゲット設定

- ✓ 戦略骨子に紐づくターゲットの設定
- ✓ ターゲットの規模の整理

(4) 具体的な取組案

- ✓ 戦略骨子から導出された具体的な取組案を整理
- ✓ それぞれの取組に対する課題の整理

(5) 実施体制・スケジュールの整理

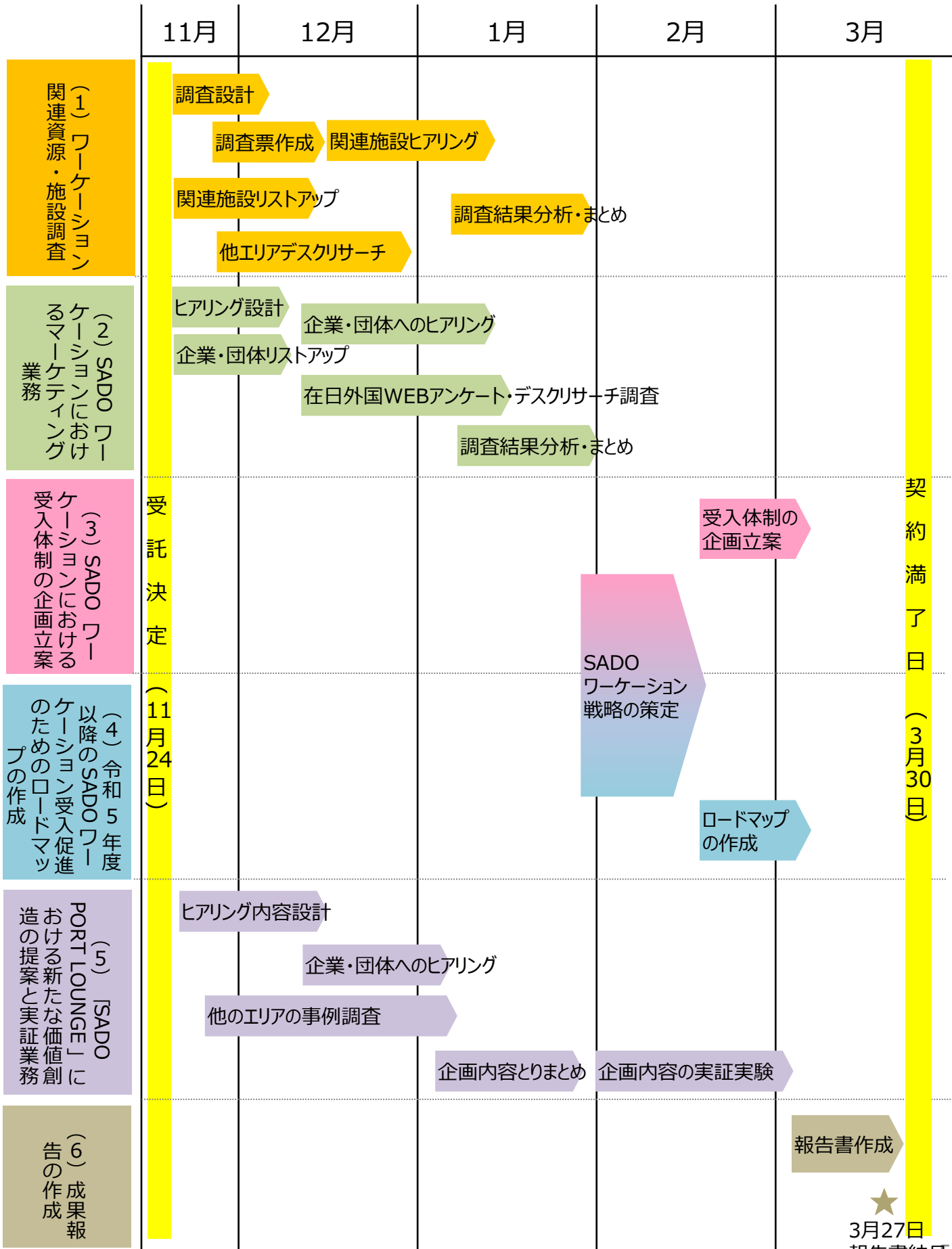
- ✓ SADOワーケーション推進における実施体制を整理
- ✓ SADOワーケーション推進における実施スケジュールを整理

「SADOワーケーション受入促進のためのロードマップ」提出

制作した「SADOワーケーション受入促進のためのロードマップ」については、佐渡市内の関連施設、事業者及び協力体制を築く外部の事業者と共有し、関係者一体的にSADOワーケーション推進に取組むことができる体制づくりに役立てる。

1. ロードマップ制作の概要

(3) 実施スケジュール



2. 環境分析・戦略策定

2. 環境分析・戦略策定

(1) - ② 他地域事例 (国内)

他地域の取り組みを参考とするため、国内におけるワーケーション事例を収集した。

1) 長野県 立科町 (1/2)

◆地域概要

人口：7,203人(2019年10月)

概要：立科町は長野県の東部北佐久郡の西端に位置する町。稲作を中心としてりんご・高原野菜・畜産などの農業が盛ん。また、女神湖・白樺湖・蓼科牧場を有する一大リゾート地で四季折々の自然の恵みを満喫することができる。

◆ワーケーションを取り組み始めた経緯

人口が少ない立科町では地元で雇用を生み出すことが課題であった。そこで、2016年頃からテレワーク推進事業を開始。

「社会福祉型テレワーク」として、多様な人達、色々な人が町のあらゆる場所でインターネットを使って仕事ができ、社会そのものに関わるような町にしようというビジョンを目指した。

社会福祉型テレワークは企業進出型テレワークと雇用創出型テレワークの2つから成り立ち、企業進出型で企業や仕事を呼び込み、雇用創出型で地域の人材を提供し、双方にメリットがある仕組みである。その一環として、町外からワーケーションを実施する企業を呼び込む「立科ワークトリップ」という取り組みを始めた。



◆補助事業・補助金等

①2020年モニターツアーの実施

実施期間は9月中旬～11月上旬で、モニター参加者は1泊2日の宿泊費(夕食・朝食付き)が無料

②おためしナガノ

IT関係事業者を誘致し、長野県内に「おためし」で住み、業務を行う。オフィス賃料、旅費、住居費等を一人最大30万円まで補助する事業。

③おためしたてしな

独自に移住体験住宅の無償利用と、仕事環境としてふるさと交流館「芦田宿」の無償利用を提供。

2. 環境分析・戦略策定

1) 長野県 立科町 (2/2)

◆取り組み内容

- ・ 「開発合宿」や「ハッカソン」という形式に特化している。
- ・ 開発合宿やハッカソンとは、エンジニアの方が職場を離れてリゾート地などで宿泊しながら集中的に開発するもの。
- ・ 他の地域でもやっているが、立科町では立科ワークトリップとうたい、ブランディングを行っている。

<Topics>

- ①立科ワークトリップでの年間受け入れ実績、220組
- ②パッケージ要素は少なく、ワーク部分の成果がしっかりと出せるパッケージ
- ③プラン設定をサポートする、ワーケーションコンシェルジュがいる

<ワーク・宿泊施設>

ポータルサイトに記載されているのは9施設。コワーキングなどの独立したワークスペースではなく、全てが宿泊とワークスペースが1施設に共存する。内訳) ホテル：3 ペンション：6



<アクティビティ>

スキー場や牧場など家族でも楽しめるアクティビティのほか、女神湖や白樺湖のようなひと息つけるスポットもある。周遊用のe-Bikeレンタルなども行っている。農業や畜産業も盛んで、多様な地元食材を堪能することもできる。これらの食材は生産量が限られており、地元以外の市場にはほとんど出回らないこともあって、立科に滞在しなければ味わえない貴重なグルメともなっている。



2. 環境分析・戦略策定

2) 長野県 富士見町 (1/2)

◆地域概要

人口：13,804人(2021年9月)

概要：富士見町（ふじみまち）は、長野県中部にある諏訪郡の町。生活圏の標高は700～1,200m、年平均気温が10℃程度。夏は涼やかな気候で避暑地になり、冬は寒い太陽光が降り注ぐ高い晴天率を誇る。八ヶ岳や南アルプス、富士山を眺めながら、四季折々の景色が楽しみ、周辺にはペンションや別荘地が多い。

◆富士見町テレワークタウン・シェアオフィス計画

長野県富士見町の既存物件を活用し、高速ネット回線やビデオ会議システムなどを備えた住居兼オフィスとして、企業やフリーランスの方々に提供する、テレワーキング・プロジェクト。

木造施設をリノベーションした複合型ビジネス交流施設「森のオフィス」に人が集うことにより、新たな価値を創造する。

◆森のオフィス

長野県富士見町の既存物件を活用し、高速ネット回線やビデオ会議システムなどを備えた住居兼オフィスとして、企業やフリーランスの方々に提供する、テレワーキング・プロジェクト。

木造施設をリノベーションした複合型ビジネス交流施設「森のオフィス」に人が集うことにより、新たな価値を創造する。

◆補助事業・補助金等

①移住 & テレワーク支援制度

月額 83,000円補助（補助期間は 2021年4月～2022年3月末）

コワーキングスペースを使って働く移住希望者の家賃・光熱費を補助する制度。

【1】町外から富士見町へ移住を希望され、かつ

【2】「富士見森のオフィス」のコワーキングスペースを日常的な仕事場として利用される方



2. 環境分析・戦略策定

2) 長野県 富士見町 (2/2)

◆森のオフィスが生み出したプロジェクト数100以上

様々な職種や異なる働き方を実践する人が訪れ、仕事や趣味、生活を通じて繋がり合うことで、他に類を見ないコミュニティを形成し、多くのプロジェクトが生まれる場へと成長してきている。これまで生まれたプロジェクトは大小100以上。移住したフリーランスの人や昔から地元地域で活動する人が出会い、新しいプロジェクトを発足するなど、人と人が会うことで様々な発展へとつながってきた。

◆施設詳細

広々とした空間には自由なワークスペース、会議室、食堂やキッチン、シャワールーム、そして森に囲まれた庭やBBQスペースなどを備えている。

【ワークスペース】

- ①コワーキング
- ②コワーキングキッチン
- ③会議室



【宿泊施設】

- ①ドミトリー
- ②個室
- ③共有リビング



【サービス】

- ①森の教室
- ②親子ワークショップ
- ③企業研修サービス
- ④見学・移住相談
- ⑤ノウハウ提供
- ⑥会員コミュニティ



2. 環境分析・戦略策定

3) 長野県 辰野町

◆地域概要

人口：18,950人(2019年6月)

概要：里山に囲まれ、日本一ホテルが飛び交う、自然と共生する辰野町。谷合の小さな集落まで、多様なエリアを有する。

「日本のど真ん中」である辰野町は、首都圏、中京圏からおよそ2～3時間の場所に位置するため、2地域居住やサテライトオフィスに適した地域である。空き家や空き地、活用されていない施設など遊休資産も多い。

◆共創型ワーケーション

商店街の再編集に取り組む「トビチ商店街」プロジェクト、空き家になっている古民家のDIY、里山の課題解決に都市住民を呼び込む関係人口プロジェクトなど。ワーケーションを通じて、地域の課題を解決するための新たなプロジェクトを共創するパートナーとしてワーカーを呼び込んでいる。

◆町全体が、社会課題解決型ビジネスの創出実験場

農業のIoT支援サービスを立ち上げたい場合は地域農家とのマッチングを。地域交通の課題を解決するサービスを創出したい場合は地域を実証実験フィールドとして活用するための地域調整を行う。空き家を活用したコワーキング拠点を創りたい場合は、ニーズにマッチした物件を紹介するなど、ソーシャルイノベーションを創出するために必要な、あらゆるニーズに地域コーディネーターが対応する仕組みを有している。

◆補助事業・補助金等

ようこそ辰野へ宿泊助成金：一人1泊あたりの3000円宿泊補助

①長野県に居住している方は、「ようこそ辰野へ宿泊助成金」対象プランを利用した場合、1人1泊3,000円を割引 ※辰野宿泊助成金は日数に関係なく一回の宿泊に対して3,000円です。連泊の場合も1回分の3,000円。同じお客様が連泊でない場合には、複数回利用することも可能。

②国や県で行う宿泊割引事業も併用可能。

③割引助成人数は3,000人【予定】。予定人数に達し次第終了。

④割引対象期間は、令和3年4月17日（日）～令和4年2月1日（火）まで実施



◆地域コーディネーターの存在

ワーケーションニーズに応じた宿泊場所やワークスペースの提案、サテライトオフィス創設の相談、2地域居住のための空き家情報の紹介、地域プレイヤーとのマッチングなど、ニーズに応じて地域の人・モノ・コトを地域コーディネーターが提案をする。

ワークスペース

商店街の中にある、3階建てシェアオフィス
Studioリバー



まちの未来を語り、人々が繋がり、
アクションが生まれる場
信州フューチャーセンター



2. 環境分析・戦略策定

4) 長崎県 壱岐市

◆地域概要

人口：24,607人(2021年9月)

概要：平成16年3月1日に郷ノ浦町・勝本町・芦辺町・石田町の4町が合併して誕生。美しい自然に囲まれている壱岐市には、年間を通して多くの観光客が訪れる。特に夏になると、日本渚百選に選ばれた美しい海などを目当てに、北部九州を始め全国から多くの親子連れや若者が訪れている。

◆事業創造型ワーケーション

島に仕事を持って来るワーケーションから、島で仕事を創るワーケーションへ、地域資源、ヒト、ビジネスのマッチングなど、地域と深く関わるためのコンシェルジュサービスを提供。国境離島雇用機会拡充事業申請サポートにより、創業・事業拡大も支援。

壱岐市地方創生テレワーク推進プロジェクトチームを市役所内に設置し、交流→関係→定住まで横断的に、各段階に応じたサポートを行う。

◆多くのモニターツアーを実施

①JR西日本×壱岐市の共同企画

壱岐島ワーケーションモニター対象者：壱岐島にてリモートワークが可能な方

関西地区（2府4県）、岡山県、広島県にお住まいの方で、ご自宅⇄集合場所（博多港）のご移動に山陽新幹線をご利用いただける方募集人数：合計20名様（各回10名様）

②壱岐島でイルカと過ごしながら事業構想「事業創造型」ワーケーションのモニター施策

週に何日かは地域に出向く「逆参勤交代構想」を取り入れ、有人国境離島法による雇用機会拡充事業と連携することで、複業や兼業、地域貢献などを推進する。

参加者はまず来島前に地域課題を洗い出した「事業創造型」ワーケーションに関するウェビナーに参加。来島中は、イルカとふれあうアクティビティや、SUPや釣りなどのマリンアクティビティ、キャンプやプチトレッキングなどのアウトドアアクティビティを体験しながら、ワークショップやディスカッションをし、島への理解を深める。そして、企業とのマッチングや地域に根づく事業のベースを知っていく。



◆WEB上の情報が充実

ワーケーション関連の情報が網羅されている、以下のようなWEBサイトたちにより、ワーケーションが盛んな地域であることが、ワーカーに対してアピールできている。

- ①えんを育む壱岐なワーケーション
- ②壱岐イルカパーク&リゾート
- ③ながさき移住ナビ
- ④JRおでかけネット ワーケーションin壱岐島



2. 環境分析・戦略策定

5) 長崎県 五島市

◆地域概要

人口：36,191人(2021年2月)

概要：福江島を中心に11の有人島と52の無人島で構成される離島の自治体。美しい自然景観を有し、一次産業が盛ん。2018年には「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として、ユネスコ世界遺産に登録されたエリアでもある。

◆ワーケーションを取り組み始めた経緯

2018年より、島出身者や学生に対して、五島市でもリモートワークができることを知ってもらい、将来帰ってくるきっかけになればと考えていた。その後、WEBメディアからお声掛けをいただき2019年5月にリモートワーク実証実験を開催。約50名の方が参加し、地元の人達との交流会が参加者の満足度を上げ関係性が生まれたことで、取り組みが一気に広がった。

2020年1月に五島市の主催で「五島ワーケーション・チャレンジ2020」と称して、地域課題解決および関係人口創出を目的として開催。地元の人達と市外からの参加者が交流できるイベントやワークショップを行い、定員を超える多くの申し込みがあった。

◆五島市のワーケーションの特徴

訪れる人、受け入れる人の双方にメリットがあり、継続的に関わり合う仕組みづくりに力を入れている。その中で、お互いが普段は得られない人的、知的刺激を受けられる機会として、またUIターンや二拠点居住に繋がる関係人口の創出、観光閑散期における需要喚起、サテライトオフィスの誘致に取り組んでいる。

また、多くのイベント企画を定期的実施することにより、一過性ではなくつながりのある交流を行っている。

◆主だったイベント

- ①島ぐらしワーケーションinGOTO2021
- ②真冬の五島でワーケーションGOTO Workation Challenge2020
- ③～先駆者たちが大集合！G7・五島ワーケーションサミット



◆島ぐらしワーケーションinGOTO2021概要

実際の「島の暮らし」を味わいながら過ごすワーケーション企画「島ぐらしワーケーション in GOTO」。普段は都市部に住む人がリモートワークをしながら、人生をより豊かなものにするたくさんの刺激を受けられるようコンテンツを設計。また地域の人と継続的に交流を持つことで、「島ぐらし」のリアルを体感できる工夫をしている。

2. 環境分析・戦略策定

6) 新潟県 妙高市 (1/2)

◆地域概要

人口：31,253人(2021年1月)

概要：新潟県南西部に位置する。長野県と隣接し、「妙高高原」一帯は観光地。8つのスキー場を有する日本有数の豪雪地帯。また、7つの温泉地、5つの泉質、3つの湯色を楽しめる湯どころ。東京から北陸新幹線で約1時間50分の近さ。

◆ワーケーションを取り組み始めた経緯

妙高市のワーケーションのターゲットは「企業」である。特に、企業の人材育成のプログラムを提供する形でワーケーションを進める「ラーニングワーケーション」。ワーケーションを単なる「仕事＋休暇」や「観光の延長」と捉えず、ワーケーションを通じて企業にも参加者にも価値のある内容を提供しようと考えた。また、研修を扱う企業とも国内2事例目という形で連携協定を締結。その企業とワーケーションを推進したことも取り組みが加速したきっかけとなった。

◆事前に行った具体的な取り組み

推進するための体制整備をおこなった。妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会にワーケーション業務を委託し、専従の職員2名を配置。この職員は関係人口を増やすためのコーディネーターである。また、妙高ワーケーションセンターを設立。各種プログラムや宿泊などに関する情報を提供するものである。このような体制、ハード面の整備をしながら、人材育成に資するプログラム開発も行った。地域内に研修ができる人材もあり、また連携協定を結んでいる企業もいたので、プログラム開発は問題なかった。以上のような受入環境整備をしながら複数回のモニターツアーを実施し、利用者ニーズの確認や課題の洗い出しを行っていった。

その他、ワーケーションを推進する上でパートナー企業と積極的に連携。旅行会社などの力を借りた営業展開や、パートナー企業がコワーキングスペースを駅前に整備・開設するなどの事例もある。

◆推進に向けた格子

ワーケーションを単なる「仕事＋休暇」や観光の延長と捉えず、ワーケーションを通じて企業・社員のどちらにも価値のある内容を提供することを目的とした。



6) 新潟県 妙高市 (2/2)

◆妙高ワーケーションセンター概要

妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会内に立ち上げられたプロジェクト。
同プロジェクトが管理する「妙高ワーケーション」のWEBサイトには、地域としてのワーケーションの特徴や宿泊施設、アクティビティ、実際に体験したレポートなど、ワーカーにとって必要な情報が網羅されている。
問合せより、コーディネーターがニーズに即したプラン提供を行うサービスも行っている。



2. 環境分析・戦略策定

7) 静岡県 熱海市 (1/2)

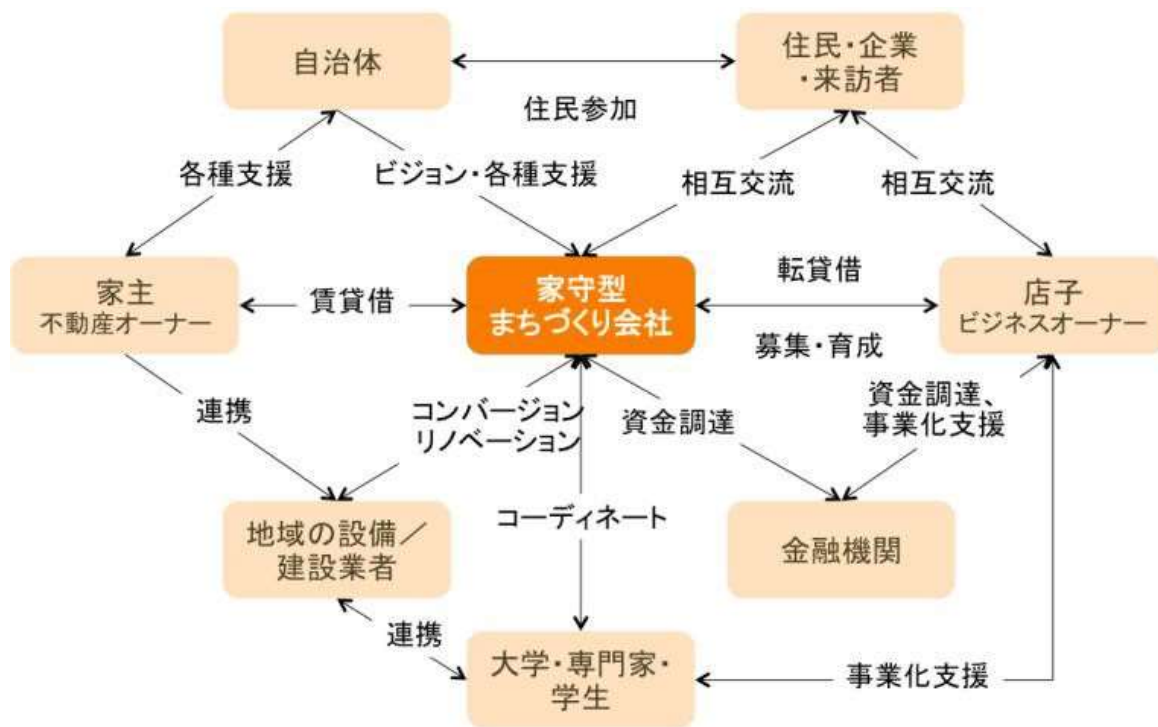
◆地域概要

人口：3,6860人(2019年5月)

概要：東京の南西、静岡県の伊豆半島にあり、相模湾に面している。伊豆半島一帯は、富士山がある富士箱根伊豆国立公園に属し、熱海市も火山性の丘陵地にある。天然温泉が豊富で、昔からリゾート地として名を馳せ、市内にはいくつもの公共温泉施設が。相模湾には人工砂浜が整備されている。

◆Machimoriを軸とし、熱海をフィールドにビジネスをしたい人が集う

- machimori = 熱海の現代版家守である。
- かつて、「家守（やもり）」（不在地主に代わってエリアのマネジメントを行う存在）をモチーフに、「現代版家守」として、不動産オーナーや店子と協働して、エリアを維持し、発展させていく存在である。
- また、多様な人や価値観が交差する新しいコミュニティの創出を行う。
- 現在、熱海の空き家率は約50%と全国トップクラス。主軸である観光産業は「小さなV字回復」を遂げ、回復の兆しを見せているが、人口減少や少子高齢化問題は、全国的に見ても先進都市と言える。
- 熱海が抱える課題を見てわかるように、まちなかの遊休化した物件は、建物所
- 有者の力だけではどうすることもできない状況である。
- 補助金などで空き店舗を埋めていくことは、短期的な解決にはなっても、本質的な解決とはならない。
- 本当に必要なのは、選ばれるまちにするための「デザインづくり」と、まちを変えていこうとする「人」や「コミュニティ」の存在である。



◆補助事業・補助金等

「熱海市ワーケーション施設等整備促進事業費補助金」ワーケーション、オフサイトミーティング、コワーキングスペースとして市内外の企業などが広く利用できる施設の設置や、市外の企業などのサテライトオフィスの進出を促進するため、企業など（法人・個人事業者）を対象に、ワーケーション施設等整備促進事業費補助金制度を創設。

補助金の額：補助対象経費の2/3以内（1,000円未満の端数は切り捨て）最大1,000万円

補助対象経費：施設の整備・開設に必要な改修工事または備品の購入に要する経費

補助対象者：

1. ワーケーション、オフサイトミーティング、コワーキングスペースとして企業などが広く利用可能な施設を熱海市内に新たに整備しようとする市内または市外の企業など（法人または個人事業主）
2. サテライトオフィスを熱海市内に新たに開設しようとする市外の企業など（法人または個人事業主）

2. 環境分析・戦略策定

7) 静岡県 熱海市 (2/2)

◆WORKxation Site熱海 (ワーケーションサイト熱海)

三菱地所 (株) と (株) ホテルニューアカオが設立したワーケーションオフィス。

三菱地所が手掛ける「WORKxationプロジェクト」としては、第3弾目であり、JR「熱海」駅から車で15分に立地。ホテルニューアカオ運営のリゾート施設「アカオリゾート」内のレストラン「花の妖精」の一区画をリノベーションして執務スペースとして提供する。



ワークスペース



カフェラウンジ



窓からの景色

5ヶ所ごみメニュー		
※詳細は「プロジェクト概要」		
1日割	2日割	3日割 (土日祝別)
1日割 1,500円	2日割 2,800円	3日割 (土日祝別) 3,800円
2日割 2,800円	3日割 (土日祝別) 3,800円	4日割 (土日祝別) 4,800円
3日割 (土日祝別) 3,800円	4日割 (土日祝別) 4,800円	5日割 (土日祝別) 5,800円
4日割 (土日祝別) 4,800円	5日割 (土日祝別) 5,800円	6日割 (土日祝別) 6,800円
5日割 (土日祝別) 5,800円	6日割 (土日祝別) 6,800円	7日割 (土日祝別) 7,800円
6日割 (土日祝別) 6,800円	7日割 (土日祝別) 7,800円	8日割 (土日祝別) 8,800円
7日割 (土日祝別) 7,800円	8日割 (土日祝別) 8,800円	9日割 (土日祝別) 9,800円
8日割 (土日祝別) 8,800円	9日割 (土日祝別) 9,800円	10日割 (土日祝別) 10,800円
9日割 (土日祝別) 9,800円	10日割 (土日祝別) 10,800円	11日割 (土日祝別) 11,800円
10日割 (土日祝別) 10,800円	11日割 (土日祝別) 11,800円	12日割 (土日祝別) 12,800円

施設の特徴

WORKxation Site熱海は、JR「熱海」駅から徒歩約10分、「熱海」駅まで徒歩約10分、「熱海」駅からバスで約15分、バス特等も利用可能なアクセス。熱海温泉一帯を走るリゾート施設「アカオリゾート」内に立地しています。

アカオリゾート内、緑豊かなウッドデッキとパティオが広がります。景観も抜群で、積極的にチームビルディングも実施いただけます。

※熱海温泉の温泉から見る日没は、絶景です。

2. 環境分析・戦略策定

(1) – ③ 他地域事例（海外）

海外におけるワーケーションの需要を把握するため、アメリカ、豪州、フランス、台湾、香港を対象としたデスクリサーチを実施した。

1) アメリカ (1/4)

◆米国の「ワーケーション」の定義と現状

- 日本と同じく、“work”（仕事）と“vacation”（休憩）の意味を表している。
- 大きな相違点は、日本のように政府に認証された協会が存在していないため、主に会社を中心に提供されている。
- パンデミックの前、主に「digital nomads」（デジタルノマド）に活用されていた。
- パンデミックの際に、ハイブリッドやテレワークが増えたため、作業環境の変化や、メンタルのリフレッシュのためにワーケーションをしたい人が増え、ワーケーションの需要が高まった。
- 例）Hyatt等のホテルが1カ月滞在プログラムを提供していた。
- 例）Airbnbでは長期間滞在の割引があった。
- 2022年現在では、いわゆる「パンデミックの後」の生活に戻った人が多く、旅行を普通にできるようになったためホテルではワーケーション対象プログラムが減ってきた。

◆米国で「ワーケーション」の特徴

- アメリカのワーケーション環境には必ずWi-Fiと作業ができる机があり、キッチンもあれば良し。
- つまり、住宅みたいに使える環境である。
- 1～4週間の滞在が多い。
- USA Todayにより2021年には、遠い所（住宅から200マイル以上）や海外より、近い所（住宅から200マイル以内）の宿泊先が多かった。
- 予算、コロナ対策、ビザ、税金の懸念点のためだと思われる。
- 海外の場合は、「デジタルノマドビザ」を提供する国が人気。
- ワケーションプランを提供しているアメリカの旅行会社はアメリカ、ヨーロッパ、南米を中心に宿泊施設を提供している。
- アジアは比較的少ない。

◆コンテキストによって「ワーケーション」の良くないニュアンスについて

- 有給の際に一方、人によって「ワーケーション」という表現が良くないイメージとして取られる場合もある
- 例）有給を使用して休憩をしているのに、やらないといけない仕事があるので「ワーケーション」になってしまった（GlassdoorとExpediaの調査により）
 - 仕事から完全に離れられないと感じる社員は54%
 - 有給の間に収入がないとリラックスできないと感じる社員は49%
 - 有給の間に副業をしたのは51%程いる
- 更に、2021年にアメリカ人は平均12日間以下の有給しか使用しなかったようなので、2022年に有給を使用して完全に仕事から離れたいと思っている人が多い

2. 環境分析・戦略策定

1) アメリカ (2/4)

◆ Passport Photo によるワーケーションに関する調査

2020年後半～2021年にかけてワーケーションに関する調査結果

- 対象者：ワーケーションをしたことがあるアメリカ人（合計1117人）
- 回答者の67%は「メンタルのリフレッシュ」のためにワーケーションをした
- 94%が「2022年にもワーケーションをしたい」と思っている
- 仕事の満足度、クリエイティブに繋げることができたと思う人も多い

<宿泊先>

- 国内が82%
- 海外が18%
- 2021年に国内ワーケーションが圧倒的に人気だった

<滞在期間>

- 1週間以下が10%
- 1～2週間で36%
- 3～4週間で32%
- 1か月以上が13%
- 2か月以上が9%
- 普段の滞在期間が1～4週間

<宿泊環境>

- 家族や友達の家が43%
- ホテルが31%
- Airbnbが18%
- 家族や友達に会う目的がメイン、または節約のために家族や友達と泊まる人が多い

<宿泊先で重視していること>

- 「観光地と近い」ことを重視している人が28%しかないので、観光をそこまで重要ではないと言える
- 一方、WiFi環境や集中できるスペースが重視されているので、ちゃんと仕事をする予定がある人が多い

<ワーケーションをしたい理由>

- メンタルのリフレッシュがしたいが67%
- 有給を使わずに新しい所の観光をするため60%
- 仕事をきちんとする予定だが旅行目的の人も少なくはないと思われる
- 友達作り、ネットワーキング目的が42%

<ワーケーション経験の感想や将来の予定>

- 「非常によかった」「よかった」と答えた人が合計84%
- 2022年以降にもワーケーションを予定している人が94%

<ワーケーションの課題点>

- 「生活費が高い」が71%
- コスト高くないワーケーションプランの需要が増えるかも？
- 「ワークライフバランスによくない」が56%
- ビザ、仕事許可の問題が54%
- 税金をどうするか悩むのが51%
- 「時差で職場とコミュニケーションが問題」が48%
- 孤独感が18%

2. 環境分析・戦略策定

1) アメリカ (3/4)

◆米国のワーケーションの事例

●Oasis

- 世界中20市、1週間～1年間の宿泊の予約サービスである
- ホテルではなく、家やアパートを借りる
- 宿泊条件としては良いWiFi環境が必須
- ラグジュアリーオプションもあり（冷蔵庫の食材補助、運転士サービス、ジムやスパの会員登録、等）
- 予算高めの人に向け
- 主にアメリカ、メキシコ、南米、ヨーロッパでサービスを展開している

●citizenM

- 7日間～29日間のワーケーションできるホテルの予約サービス
- 宿泊料が比較的に高くないのがポイント
- アジアを含め、世界中の都市での宿泊も提供している
- 滞在先は主に都市になっているので自然を楽しみたい人に向いていないと思われる

●Selina

- 無限期間に、海外で宿泊も旅行も作業もできる美しい宿泊を提供しているサービス
- シェアオフィス、団体予約、アクティビティ（サーフィンなど）も提供している
- 南米、メキシコ、アメリカ、ヨーロッパ等

●Airbnb

- 世界中で知られている宿泊予約サービス
- パンデミックの時からワーケーション向けのサービスが増えてきた
- 宿泊によって長期滞在の割引あり（40%オフなど）
- 宿泊の「Wi-Fi速度」の確認ができるようになった
- 2021年11月のAirbnbを使用して長期滞在の約60%が、テレワークやリモート授業をした人だった
- 1ヶ月の予約の人気の高まっている

●Vrbo

- Airbnbのような仕組みを持っている旅行会社である
- ワーケーションのことを「flexcation」（フレックスケーション）と呼び、家族にターゲットをしている
- 2020年7月に行った調査により、検索結果の分析でわかったこと：
 - 7日間の宿泊の興味が25%増加
 - 3～4週間の宿泊の興味が15%増加

●Booking.com

- 「Work-Friendly Program」（ワークフレンドリー プログラム）を宿泊施設のオーナーさん向けに提供している
- 宿泊施設が作業しやすいと判断された場合、ビジネス用に使いたいユーザーの検索結果で出やすくなるプログラムである
- 条件としては良いWiFi環境、作業できる机、等
- Work-Friendly Programの審査が通した場合は「Work-friendly」バッジが表示されるようになる

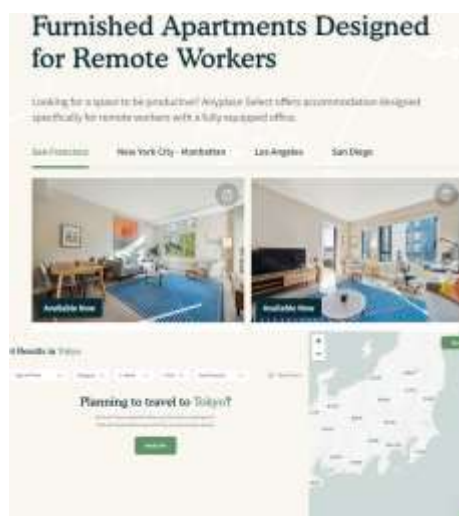


2. 環境分析・戦略策定

1) アメリカ (4/4)

● Anyplace

- 主にアメリカで1ヵ月、テレワークが出来るアパートの予約サービス
- 世界展開をしている
- 日本に宿泊まだないが、展開する予定があると考えられる



2) 豪州

◆豪州におけるワーケーション

- ABSの調査ではより、2021年にテレワークをした社員が41%、2019年では32%だった。
- 2021年末～2022年に、豪州の会社いくつかがワーケーション制度の活用を始めた。
- 長期間海外テレワークを許可
- Desygnerという豪州のマーケティングテックの会社がバリ島で、ハッカソン（hackathon）のためにワーケーションをしたと最近ニュースになった。
- Kayakによると、豪州で仕事を決める際にワーケーション制度を活用している会社が人気。
- 豪州の社員の29%が2022年にワーケーションの予定あるということなのでアメリカと同じく人気だと考えられる。
- 日本と豪州の時差は小さいので、豪州人にとって日本はワーケーションに良さそうだと思う（ABS豪州人1000人の調査による）
- 米国と同じく、豪州のワーケーションは主にデジタルノマド、次に会社が社員のために提供する。
- つまり、地域や政府にあまり関係ない
- 但しワーケーションを提供する旅行会社は殆どないため、まだ事業化されていないと思われる。
- アメリカと違って豪州はいろいろな国でワーキングホリデービザがあるため若い人からみると、ワーケーションはそこまで需要がない可能性がある。
- 参考までに、豪州の平均有給日数は20日以上

◆豪州におけるワーケーション事例

●CoWorking

- コワーキングスペースを提供している会社とiFlyという会社のタイアップ
- 4スターホテルの1週宿泊プランを提供している
- CoWorkingのシェアオフィスのサービスも入っている
- ラグジュアリー目的で使用する人が多いと思われる



YOUR ACCOMMODATION

Mantra Legends

Located just 100 metres from the beach and a couple of minutes from the CoWorking Office in Mantra Legends, the ultimate Gold Coast location in the heart of Surfers Paradise. It is the ideal base for your Gold Coast workation (work staycation). Onsite facilities include a beautiful outdoor door pool area, a fully equipped gymnasium and a relaxing steam room + much more. Room types include hotel deluxe twin, hotel deluxe king studio and spa suite, as well as interconnecting rooms for families.

2. 環境分析・戦略策定

3) フランス

◆フランスにおけるワーケーション

- ・ フランスでは「ワーケーション」という表現がまだ新しい、パンデミックの際にニュースで見られるようになった。
- ・ 2022年には表現として広がり、会社員の25%はワーケーションの予定がある。
- ・ パンデミックの際にテレワークをする人が増え、フランス人の76%はテレワークがワークライフバランスに良いと言っている。
- ・ 定義と条件はアメリカの定義とほぼ同じだと考えられる
- ・ 良いWiFi環境、自宅ではない場所で仕事をする、目的がメンタルのリフレッシュやクリエイティブを生かす。
- ・ 国内で環境を変えたいという人も多い（都市から田舎、田舎から都市、等）。
- ・ 主に活用しているのはデジタルノマド、次に会社員である。
- ・ La Provenceの調査によれば「ワーケーション」という表現はアメリカで生まれた。アメリカみたいに有給日数が比較的に少ない国のは人気かもしれないと考えられる。
- ・ アメリカは平均10日間、フランスは平均30日間。
- ・ 一方、Le Mondeの記事によると、フランスのマネジメントスタイルは進捗を実際目で確認したいが一般のようなので、テレワークを活用する会社はまだ少ない。
- ・ ホテルや宿泊事業も新しいチャレンジをあまりしない傾向ありそうだが、大きな会社がワーケーション向けにパッケージを提供したら、トレンドになる可能性がある。
- ・ 現在、ワーケーションを提供している宿泊の会社はほぼないが、存在はする。

◆フランスにおけるワーケーション事例

●Remoters

- ・ ワケーションという表現を使用していないが、テレワーク向けの宿泊を提供している会社である
- ・ 宿泊先に住んでいるコンサルタントと繋げて宿泊を探すサービスである



●Mutinerie Village

- ・ フランス田舎の coworking space
- ・ 「ワーケーション」と書いていないが定期的な coworking space 予約を提供しているサービスである

TROIS MOIS DE RÉSIDENCE POUR 4 PERSONNES EN PLEINE CAMPAGNE PERCHERONNE
du 15 janvier au 15 avril 2023



Mutinerie Village c'est :

- Un espace de travail équipé pour travailler avec ses collègues, clients et groupes
- Un lieu idéal pour travailler en famille, chef ou mari
- Un domaine de 10 hectares de nature percheronne à la fois sauvage et préservée
- Un potager en permaculture
- Un producteur

2. 環境分析・戦略策定

※欧米豪におけるワーケーションの特徴

◆欧米豪各国のワーケーションの特徴

本調査により日本、米国、豪州、フランスのワーケーションの定義や目的や形を調べた結果、共通点と異なる点がみられた。次頁の表では4カ国それぞれの主なワーケーションの目的、平均宿泊期間、理想のワーケーション環境、ワーケーションを提供する団体、主なユーザーを比較、主な特徴は以下の通り。

- ✓ 日本ではパンデミックの際にテレワークが増えた結果、ワーケーション制度を始めた会社も増えた。一方、日本におけるワーケーションと米国、欧州、フランスのワーケーションの目的や形にいくつかの異なる点がみられた。
- ✓ 米国では日本と同様にパンデミックの際にテレワークが増え、ワーケーション人気が高まった。主なユーザーは **digital nomads (デジタルノマド)** であり、次に会社員である。目的はメンタルのリフレッシュが主であるが、日本との相違点では家族や友達に会うことや海外でのワーケーションが人気のようである。
- ✓ ただし、**海外でのワーケーションの場合言語の問題、生活費の高さ、税金やビザの懸念もあるため、国内でのワーケーションを選択する人も多い**ようである。
- ✓ 期間では長期間（1～4週間）でワーケーションをする傾向がみられる。[Statista](#)の調査によれば2022年にワーケーションをする予定の**アメリカ人が32%程あり、これからも人気が高まるもの**と考えられる。
- ✓ 豪州とフランスでは、日本とアメリカ程にワーケーションの人気は高まっていないようである。理由としては有給日数が大幅に違うためだと考えられる。日本と米国の場合は年に平均10日間、豪州で平均20日間、フランスで平均30日間あり、ワーケーションの必要性を感じる人が少ないのかもしれない。
- ✓ ワケーション利用者は、会社のプログラム以外に個人でAirbnb等で調べるケースが多いと思われる。また、海外でワーケーションをする場合、**digital nomadビザを提供している国**が人気であり、ポルトガルやメキシコなど世界で49カ国が同ビザを発給している。
- ✓ 日本におけるワーケーションは、地域活性化の側面が強く、**ワーケーション先でメンタルのリフレッシュのほか地域支援を目指すプログラムが多い**傾向がみられた。主に会社が社員に研修や地域体験をさせるために企画するため、短期滞在（1週間以下、または1～2週間）が一般的であり、国内でのワーケーションが主流である。

	主なワーケーションの目的	平均の宿泊期間	理想のワーケーション環境	ワーケーションを提供する団体	主なユーザー
日本	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルのリフレッシュ ・チーム感の強化 ・地域支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・短期間（1週間以下、1～2週間） 	<ul style="list-style-type: none"> ・WiFiが安定しているかつ早い ・自然に近い ・（会社で行く場合）コワーキングスペースあり 	<ul style="list-style-type: none"> ・政府、地域 ・会社 	<ul style="list-style-type: none"> ・会社員
米国	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルのリフレッシュ ・家族や友達に会うため ・有給を使わずに新しい場所の探検 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期間（1～4週間） 	<ul style="list-style-type: none"> ・WiFiが安定しているかつ早い ・生活しやすい住宅のようなイメージ ・自然や、家族と友達に近い場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社 ・会社 ・自分で検索（Airbnb等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・Digital nomads ・会社員
豪州	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルのリフレッシュ ・有給を使わずに新しい場所の探検 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期間（1～4週間） 	<ul style="list-style-type: none"> ・WiFiが安定しているかつ早い ・（会社で行く場合）コワーキングスペースあり 	<ul style="list-style-type: none"> ・会社 ・自分で検索（Airbnb等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・Digital nomads ・会社員
フランス	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルのリフレッシュ ・有給を使わずに新しい場所の探検 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期間（1～4週間） 	<ul style="list-style-type: none"> ・WiFiが安定しているかつ早い 	<ul style="list-style-type: none"> ・会社 ・自分で検索（Airbnb等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・Digital nomads ・会社員

2. 環境分析・戦略策定

4) 台湾 (1/2)

◆台湾におけるワーケーション

- 日本と同じく、“work”（仕事）と“vacation”（休憩）の意味を表している。
- [TVBS](#) により、「ワーケーション」という表現は 2000年にアメリカに登場し、その後日本も導入された。「ワーケーション」という表現はまだ新しいが、ますます人気になっている。
- パンデミックの前、主に「digital nomads」（デジタルノマド）に活用されていた。
- パンデミックの際に、一時テレワークが増えたが、2021年感染状況が沈静化した後に、続けて在宅勤務をしている企業とサラリーマンは僅か約5%になる。（[焦点新聞](#)）
- TTVニュース（台視新聞）の報道によると、これから三年間リモートワーク、ハイブリッドワークを実施する企業は僅か20%になる。
- 現在、台湾では一つの企業（Klook）しかワーケーションを実施していない。有給休暇を使わずに、最大30日間世界各地で働きながら、旅行できる。
- 「ワーケーション」プランを提供されている宿泊施設は少ないが、存在している。
- グランド コスモス リゾート「瑞穂」はワーケーションのトレンドを迎えるために色々な準備をしている。ホテルの職員によると、現在、多くの顧客からワーケーションを利用するための問い合わせをいただいている。このトレンドは強まっており、ワーケーションを引き寄せたいと考えているホテルも増えている。
- Bon Chill Glampingという会社は桃園ゴルフ場の隣では高級キャンピングカー体験サービスを提供し始め、ワーケーションとゴルフを融合させた。

◆エアビーアンドビーによるデジタルノマドに関する調査（[三立新聞網](#)）

<デジタルノマドが人気の理由>

- 仕事とバケーションが融合していること（48%）
- 生活する環境を変えられ、新しい体験をできることである（47%）

<デジタルノマドの最も魅力的なところ>

- 環境を変えて新しい体験できる（Z世代52%）
- 自然に触れる機会が多くなる（ベビーブーマー47%）

<デジタルノマドの希望地>

- 国内他の都市でデジタルノマドを希望（36%）
- 海外でリモートワークを希望（35%）

◆台湾におけるワーケーション事例

●台東県

- 台東県のデジタルノマドプログラム「国際デジタルノマドオアシス集落大武郷実証プロジェクト」
- 2022年12月7日に、台東県のデジタルノマド向けの長期滞在宿泊施設が完成した。これは台湾の初めての政府によるデジタルノマドの施設である。
- 宿泊施設以外にも、台東県は他のサービスも充実してきた。例えば、無料Wi-Fiアップグレード作業、お店のスタッフの英語研修、交通情報の充実などを行った。（[Discover Taitung - 發現台東](#)）



2. 環境分析・戦略策定

4) 台湾 (2/2)

● mrhost × AirBnb

- 台湾のホテル予約サイト「mrhost」は「AirBnb」と連携してワーケーションシリーズの民泊施設を開始した。(経済日報)
- このシリーズの民泊施設はビジネスと住居が一体となった空間で、オフィスの設備だけでなく、キッチン、洗濯機、フィットネス機器など一般的なオフィスよりも充実したホームスペースを整っている。
- 家族向けやアウトドア活動向けの部屋もあり、様々なニーズに対応している。



● 台湾のリモートワーク・デジタルノマドのコミュニティ (Facebook)

- Facebookには、約2万人の台湾人メンバーを有するリモートワーク・デジタルノマドについてのコミュニティがある。
- このグループの目的はリモートワークとデジタルノマドに関する経験の共有である。メンバーたちは中で、リモートワーク可能な求人情報やワーケーションに適する宿泊施設の紹介などの情報交換を行う。



5) 香港

◆香港におけるワーケーション

- Klook香港は香港で唯一のワーケーションを実施する企業である。
- いくつかの香港企業は「在宅ワーク」を実施しているが、「ワーケーション」はまだ流行っていない。日本と比べて、「ワーケーション」が香港で普及率は高くない。(経済一週)
- 現在香港にあるワーケーションと関連する情報が少なく、多く掲載されているは2020年の「Work from Hotel」に関する情報である。(香港経済日報)
- グランドハイアット香港は、「Work from Hotel」のためのデイプラン「12 Hour Escape」を発売し、大変ご好評をいただいた。
- リーガル香港ホテルは、「リラックスできる職場」プランを発売した。ビジネスやミーティングを目的とした場合は、デイレントルの方が人気がある。
- JW マリオットホテル香港は、「Work Anywhere」プランを発売し、自宅にワーキングスペースがないお客様を受け入れるためのデイレントルや宿泊などのオプションを提供した。

6) まとめ

◆訪日外国人向けのワーケーション推進方法は？

訪日外国人にワーケーションを推進するために、在留資格「短期滞在」でワーケーションの可能性を確かめる必要があると思われる。基本は就労ビザや配偶者ビザを持っていない場合は仕事が出来ないと法律に強制されているが、テレワークはこの法律に当てはまるかどうかは不明である。

- ✓ JETOROでは、旅行ツアーの他、セミナーや会社の契約会議のために訪日するのは許可されているが、テレワーク等について書いていない
- ✓ 法律的に訪日外国人は日本でワーケーションができるかどうかは不明である

法律を確認した上で訪日外国人はワーケーションができるようであれば、長期滞在向けの施設を用意するのが良いと思われる

- ✓ 宿泊施設の条件としては、長期間いても生活や作業に困らない設置（速度の早いWiFi、作業が出来る机、キッチン等）が必要と考えられる
- ✓ 日本の一般的なワーケーションのように地域との深くても良いと思われるが、アクティビティや体験を用意する場合は様々な言語（英語、中国語、韓国語、等）でガイドを提供するのは良いと考えられる。

以上の海外リサーチ結果から、インバウンドにおけるワーケーションのターゲット市場を台湾に設定のうえ在台湾人アンケート調査を実施、次頁より調査結果をまとめた。

2. 環境分析・戦略策定

(1) - ④ 台湾現地アンケート調査

在台湾人アンケート調査を下記の通り実施。台湾人のワーケーションに対するニーズ調査を行った。

●調査概要

対象地域	台湾
対象条件	・20歳～69歳 男女 ・過去5年間訪日経験者 ・有職者
サンプル数	452サンプル
サンプル内訳	①子育て世代女性（未就学児）128サンプル ②単身（未婚）男性：114サンプル ③単身（未婚）女性：114サンプル ④企業のチームリーダークラス（性別不問）：201サンプル ※条件が重複する割付があるため、回収サンプル数と上記内訳サンプルは同数とはならない。
調査手法	WEBアンケート調査
調査時期	2023年2月17日～2023年2月25日
設問	1. 子ども連れワーケーションに対する興味 ①、1～2週間程度、子どもや夫と旅行先に滞在して仕事を行うことに対する興味 ②、①を行う上で心配なこと（預け先・職場・費用など） 2. 旅行先で仕事を行うことに対する興味 ①、出張と観光を掛け合わせた働き方に対する興味（プレジャー視点） ②、旅行滞在先で仕事を行う「デジタルノマド」に対する興味（興味、課題、懸念点など） 3. チームビルディングに対する興味 ①、企画合宿等を滞在先で行うことに対する興味 ②、滞在先現地の課題解決に向けた取組等に関する興味
調査結果の見方	・nは回答者数を表している。 ・回答率(%)は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。このため、合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。 ・設問の回答には、単一回答と複数回答がある。複数回答の設問は、回答率(%)の合計が100%を超える場合がある。 ・nが30未満の数値は参考値とする。

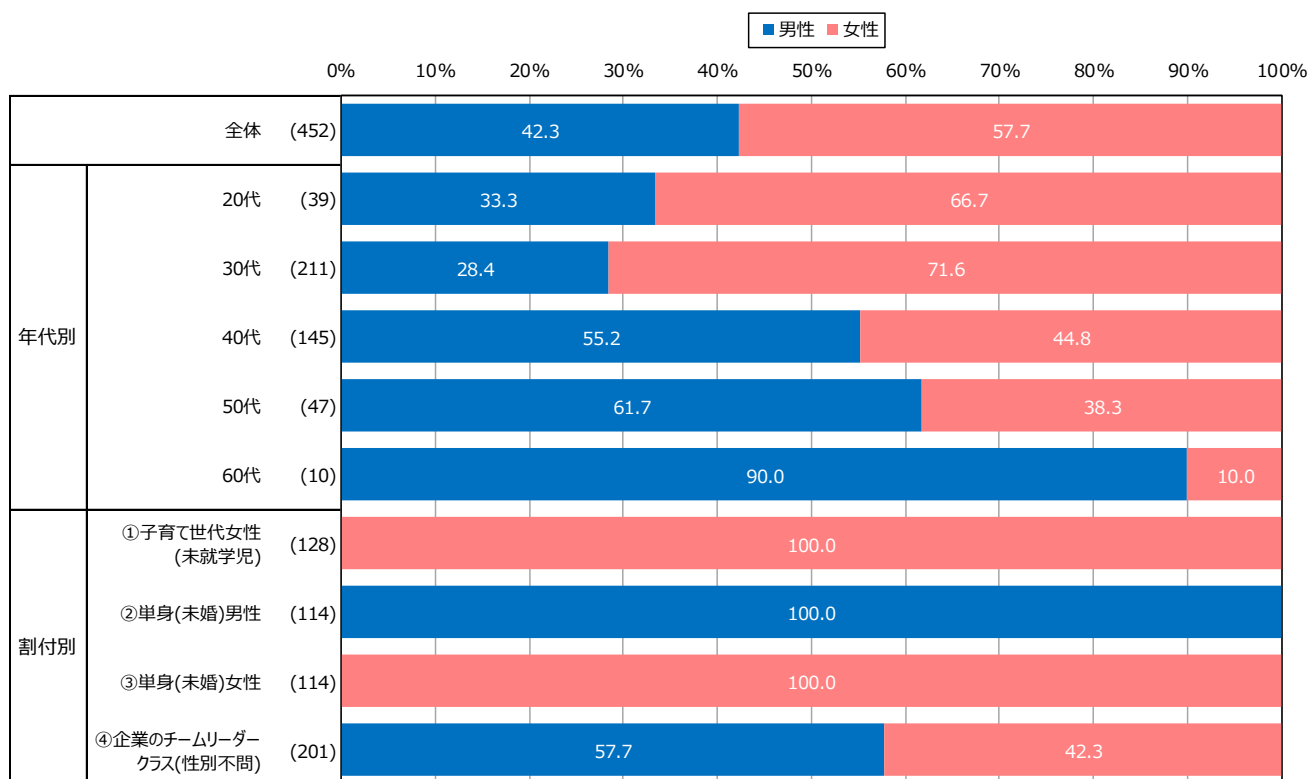
2. 環境分析・戦略策定

○調査結果

性別

- 性別は、「女性」は57.7%、「男性」は42.3%である。
- 年代別で見ると、50代は「男性」の割合が全体よりも高い。

F1 あなたの性別をお答えください。



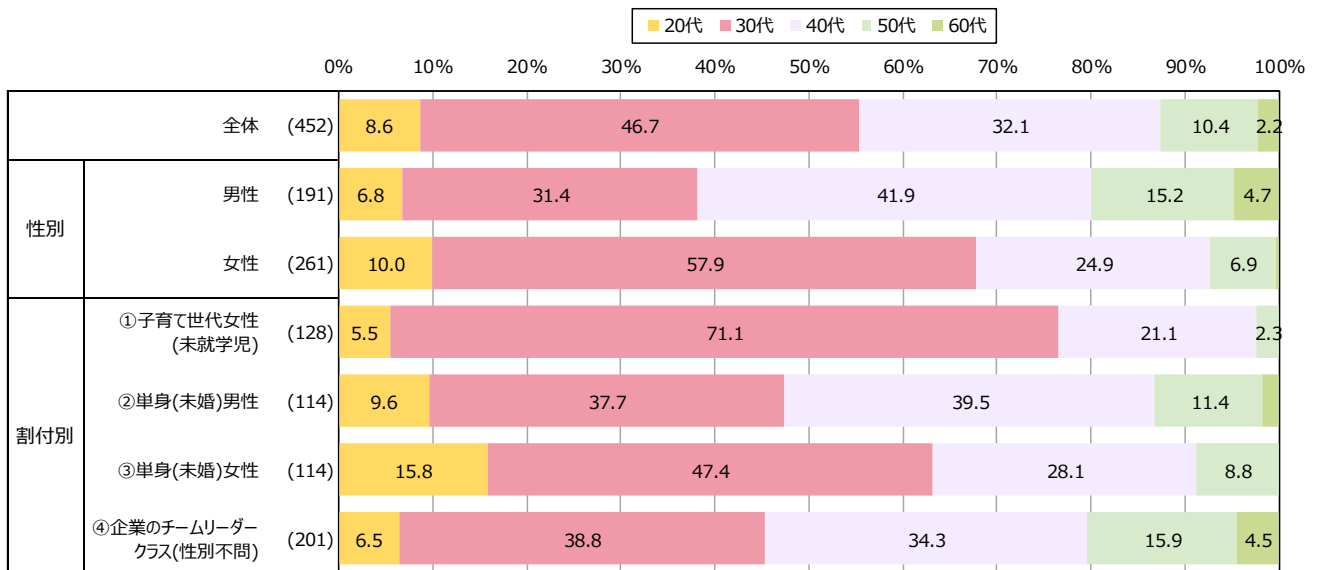
2%未満の数値ラベルは非表示

2. 環境分析・戦略策定

年齢

- 年齢について最も高いのは、「30代」(46.7%)である。次いで「40代」(32.1%)、「50代」(10.4%)、「20代」(8.6%)と続く。
- 性別で見ると、男性は「40代」が最も高い。
- 割付別で見ると、①子育て世代女性(未就学児)は「30代」の割合が全体よりも高い。

F2T1 あなたの年齢をお答えください。



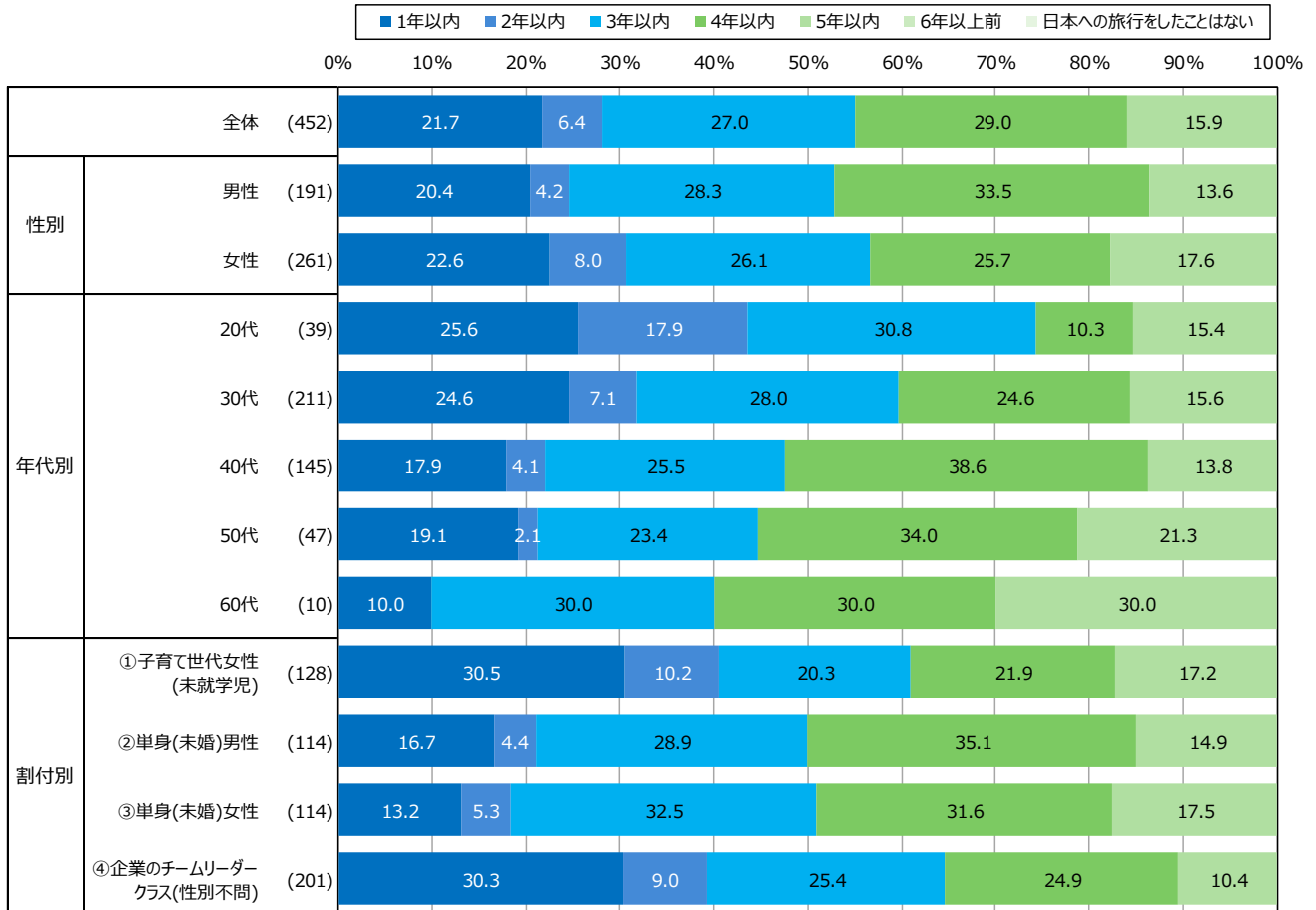
2%未満の数値ラベルは非表示

2. 環境分析・戦略策定

訪日旅行経験

- 訪日旅行経験について最も高いのは、「4年以内に日本への旅行をしたことがある」(29.0%)である。次いで「3年以内に日本への旅行をしたことがある」(27.0%)、「1年以内に日本への旅行をしたことがある」(21.7%)、「5年以内に日本への旅行をしたことがある」(15.9%)と続く。
- 年代別で見ると、20代は「3年以内に日本への旅行をしたことがある」が最も高い。
- 割付別で見ると、①子育て世代女性(未就学児)は「1年以内に日本への旅行をしたことがある」が最も高い。

SC1 あなたは、日本への旅行をしたことがありますか。複数回行ったことがある方は直近の旅行についてお答えください。



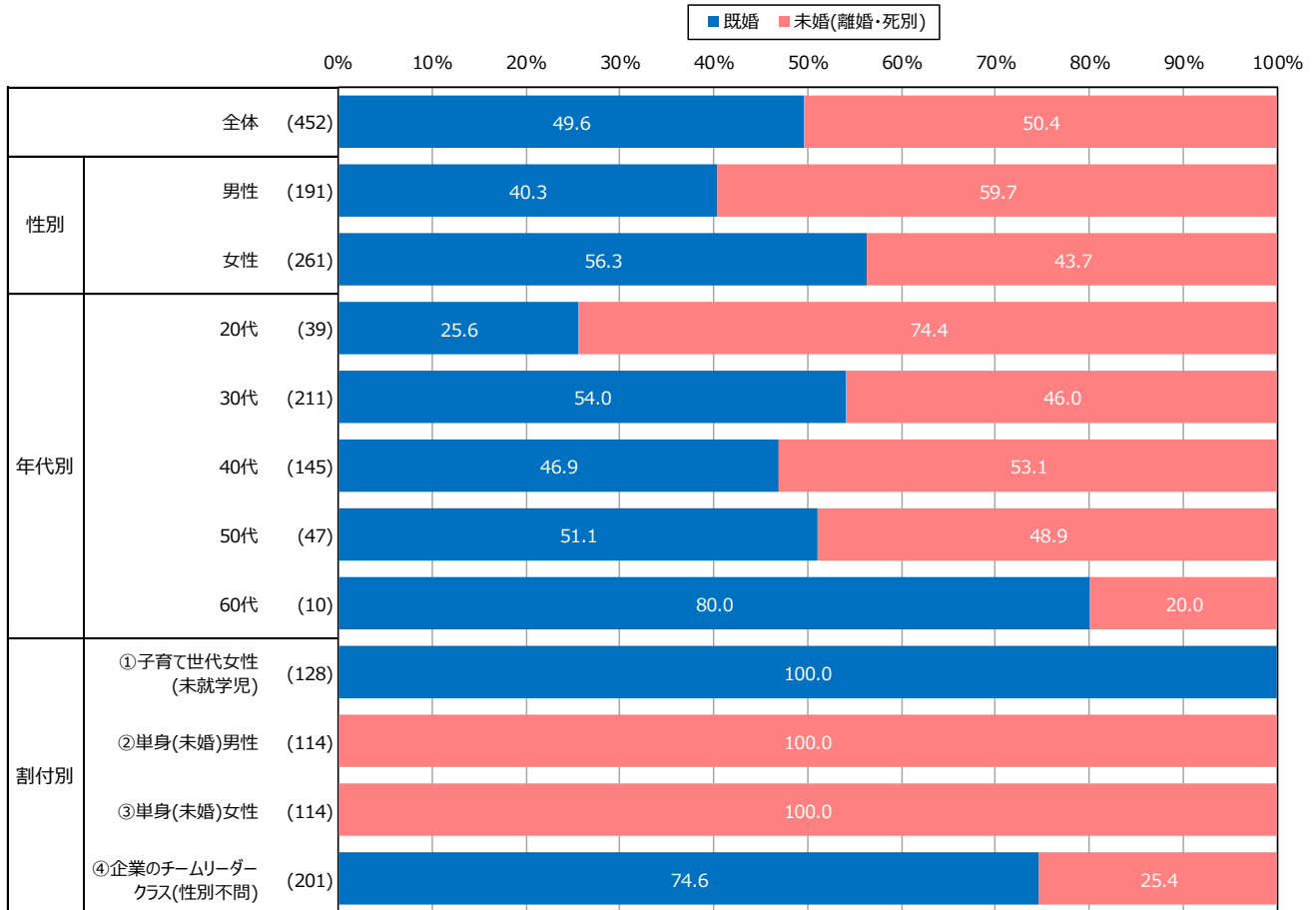
2%未満の数値ラベルは非表示

2. 環境分析・戦略策定

婚姻状況

- 婚姻状況は「未婚(離婚・死別)」が50.4%、「既婚」が49.6%である。
- 性別で見ると、女性は「既婚」が最も高い。
- 年代別で見ると、20代は「未婚(離婚・死別)」の割合が全体よりも高い。

SC2 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。



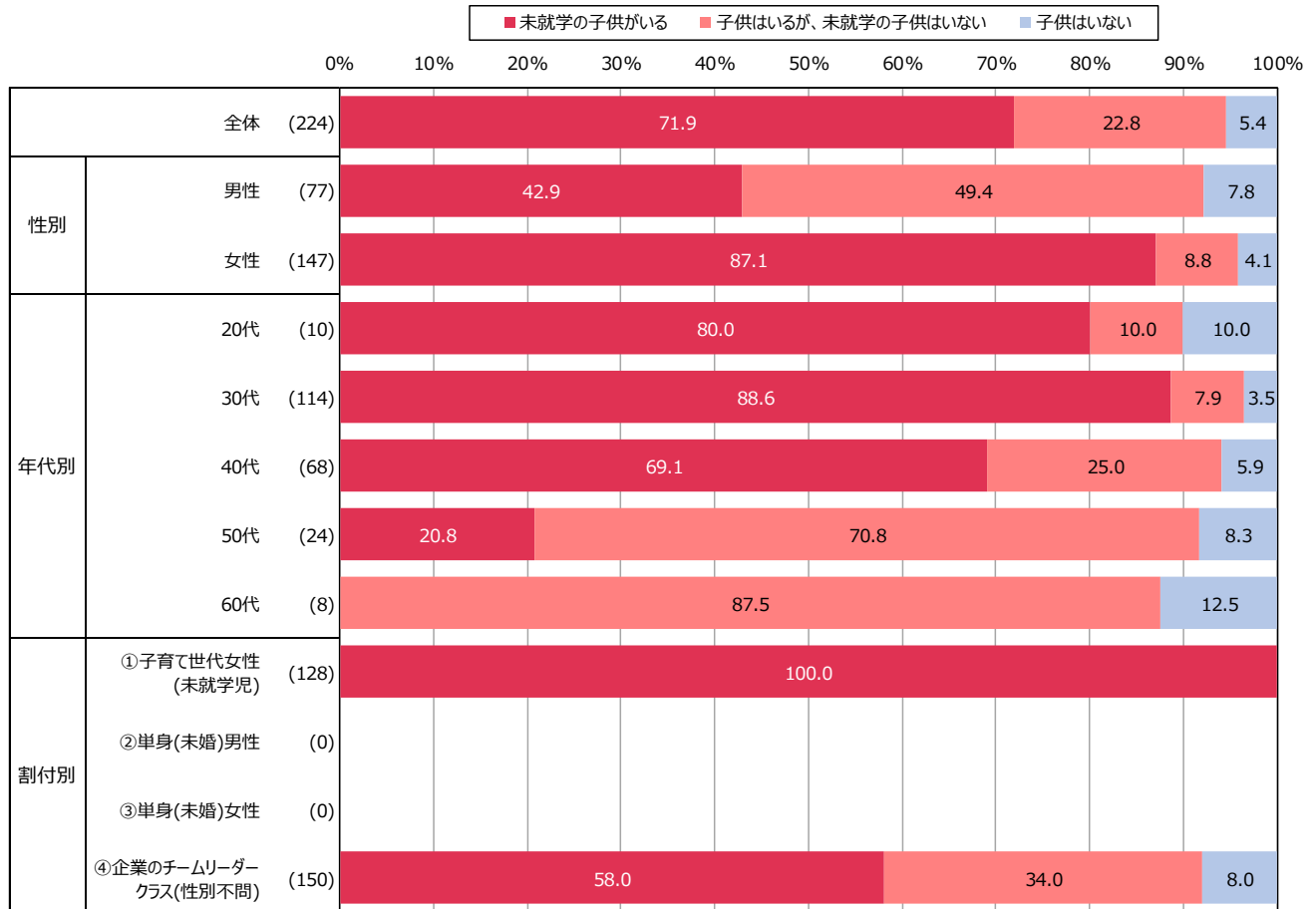
2%未満の数値ラベルは非表示

2. 環境分析・戦略策定

未就学児の有無

- 未就学児の有無について最も高いのは、「未就学の子供がいる」(71.9%)である。次いで「子供はいるが、未就学の子供はいない」(22.8%)、「子供はいない」(5.4%)と続く。
- 性別でみると、男性は「子供はいるが、未就学の子供はいない」、女性は「未就学の子供がいる」の割合が全体よりも高い。
- 年代別でみると、30代は「未就学の子供がいる」の割合が全体よりも高い。
- 割付別でみると、①子育て世代女性(未就学児)は「未就学の子供がいる」の割合が全体よりも高い。

SC3 あなたは現在、未就学のお子様がいっぱいますか。



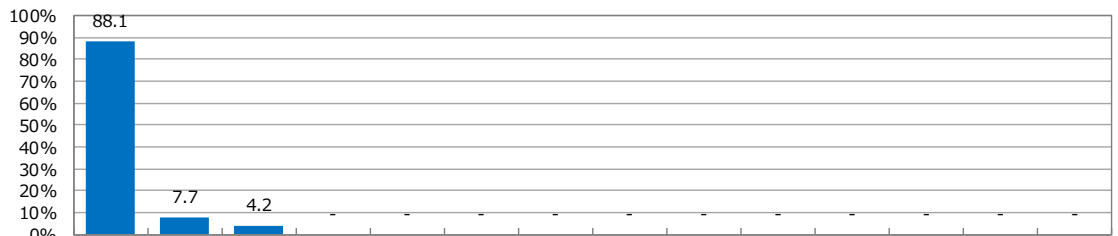
2%未満の数値ラベルは非表示

2. 環境分析・戦略策定

職業

職業について最も高いのは、「会社員・団体職員(正社員)」(88.1%)である。次いで「会社経営者・役員」(7.7%)、「会社員・団体職員(派遣・契約社員)」(4.2%)と続く。

SC4 あなたの職業をお答えください。



■ 全体+10pt以上
■ 全体+5pt以上
■ 全体-10pt以下
■ 全体-5pt以下
 (n=30以上)

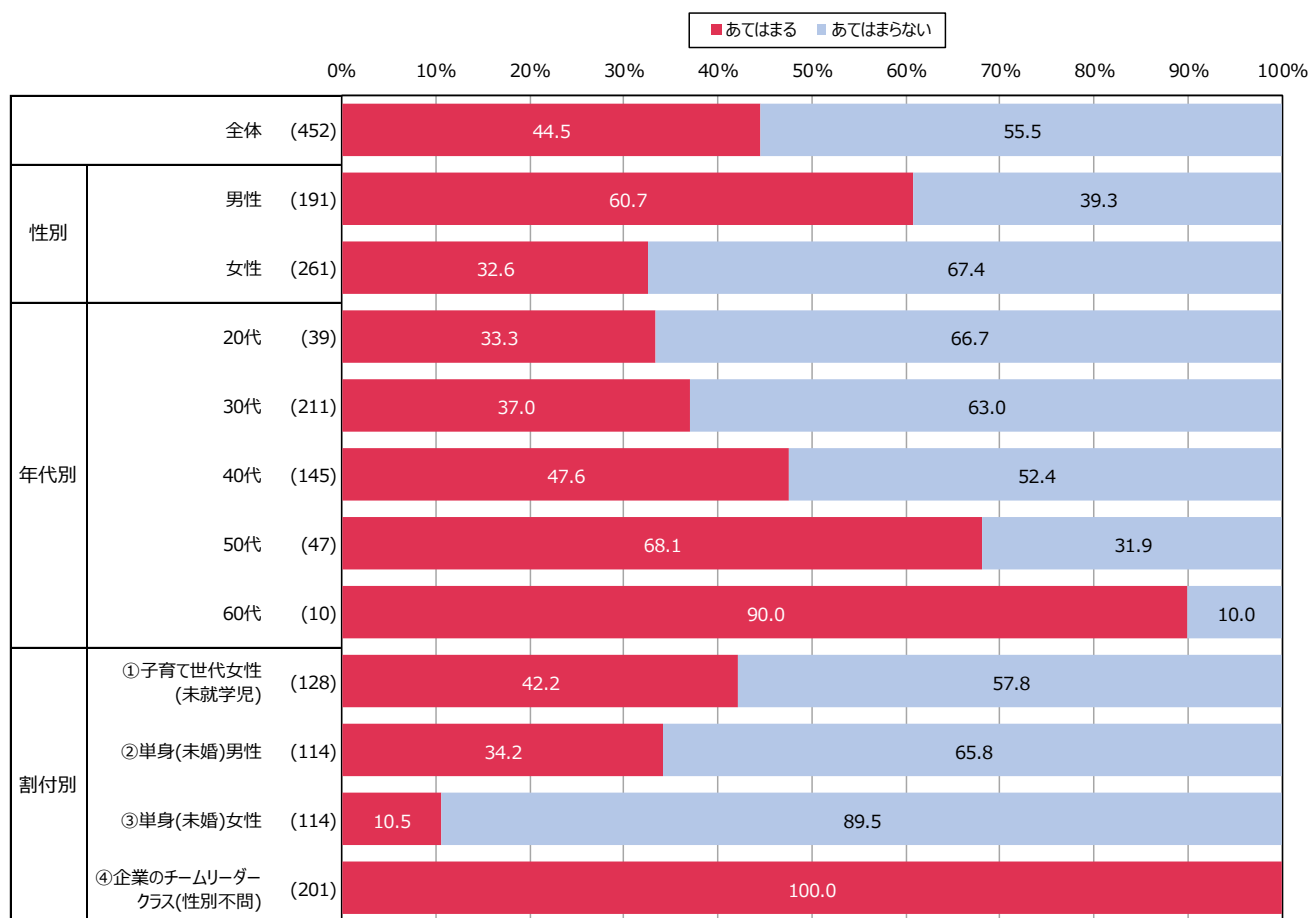
		n=	会社員・団体職員(正社員)	会社経営者・役員	会社員・団体職員(派遣・契約社員)	会社員・団体職員(教員)	自営業	個人事業主・フリーランス	自由業所(開業医・弁護士事務など)	公務員	学生	主婦・主夫(専業)	パート・アルバイト	無職・休職中・求職中	年金生活	その他
全体		452	88.1	7.7	4.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性別	男性	191	91.6	6.3	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性	261	85.4	8.8	5.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	20代	39	92.3	5.1	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30代	211	82.0	11.4	6.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40代	145	94.5	3.4	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50代	47	91.5	6.4	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60代	10	90.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
割付別	①子育て世代女性(未就学児)	128	79.7	15.6	4.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	②単身(未婚)男性	114	93.0	3.5	3.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	③単身(未婚)女性	114	92.1	0.9	7.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	④企業のチームリーダークラス(性別不問)	201	81.6	16.4	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

2. 環境分析・戦略策定

チームリーダーの立場

- チームリーダーの立場である割合は44.5%である。
- 性別で見ると、男性は「あてはまる」の割合が全体よりも高い。
- 年代別で見ると、50代は「あてはまる」の割合が全体よりも高い。

SC5 あなたは職場でチームのマネジメントを行うチームリーダーの立場にありますか。



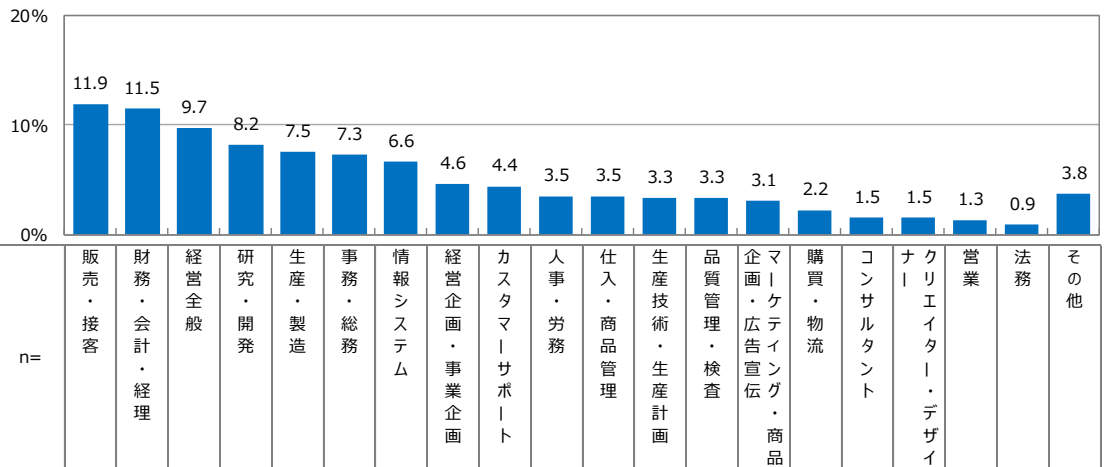
2%未満の数値ラベルは非表示

2. 環境分析・戦略策定

職種

- 職種について最も高いのは、「販売・接客」(11.9%)である。次いで「財務・会計・経理」(11.5%)、「経営全般」(9.7%)、「研究・開発」(8.2%)と続く。
- 性別で見ると、女性は「財務・会計・経理」が最も高い。
- 割付別で見ると、①子育て世代女性(未就学児)、③単身(未婚)女性は「財務・会計・経理」、④企業のチームリーダークラス(性別不問)は「経営全般」が最も高い。

Q1 あなたが現在就いている職種をお答えください。



■ 全体+10pt以上
 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-10pt以下
 ■ 全体-5pt以下
 (n=30以上)

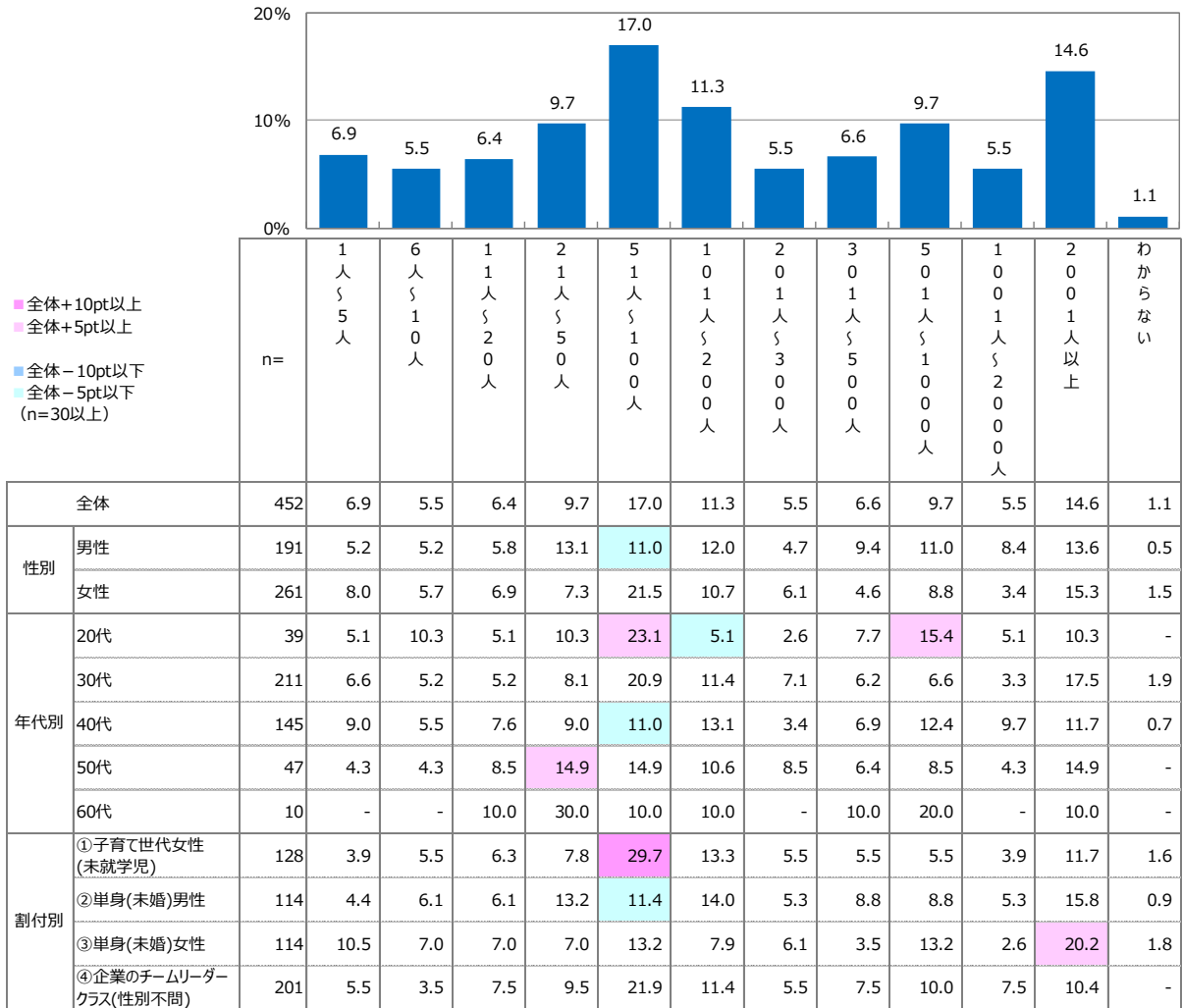
n=		販売・接客	財務・会計・経理	経営全般	研究・開発	生産・製造	事務・総務	情報システム	経営企画・事業企画	カスタマーサポート	人事・労務	仕入・商品管理	生産技術・生産計画	品質管理・検査	企画・広告宣伝・商品	購買・物流	コンサルタント	クリエイター・デザイナー	営業	法務	その他	
全体	452	11.9	11.5	9.7	8.2	7.5	7.3	6.6	4.6	4.4	3.5	3.5	3.3	3.3	3.1	2.2	1.5	1.5	1.3	0.9	3.8	
性別	男性	191	12.6	2.6	12.0	14.1	11.0	3.7	8.9	3.1	5.2	4.7	4.7	5.2	2.1	1.0	1.6	2.1	1.0	1.6	1.6	
	女性	261	11.5	18.0	8.0	3.8	5.0	10.0	5.0	5.7	3.8	5.4	2.7	2.3	1.9	3.8	3.1	1.5	1.1	1.5	0.4	5.4
年代別	20代	39	2.6	12.8	7.7	7.7	5.1	10.3	5.1	7.7	5.1	2.6	7.7	2.6	2.6	2.6	-	7.7	2.6	-	5.1	
	30代	211	11.8	9.0	10.4	7.6	7.1	8.5	5.7	5.2	3.3	6.2	1.9	3.8	2.4	3.3	2.4	1.4	1.9	-	4.7	
	40代	145	13.8	13.1	6.9	10.3	9.0	6.9	7.6	3.4	5.5	1.4	3.4	2.8	5.5	3.4	1.4	-	0.7	-	1.4	3.4
	50代	47	14.9	17.0	14.9	4.3	4.3	2.1	10.6	4.3	6.4	-	6.4	2.1	2.1	-	4.3	-	2.1	4.3	-	
	60代	10	10.0	10.0	20.0	10.0	20.0	-	-	-	-	-	10.0	10.0	-	10.0	-	-	-	-	-	-
割付別	①子育て世代女性(未就学児)	128	7.8	17.2	10.9	3.1	6.3	10.9	4.7	7.8	2.3	6.3	2.3	2.3	3.9	3.1	2.3	0.8	-	0.8	4.7	
	②単身(未婚)男性	114	14.0	1.8	7.9	17.5	9.6	4.4	9.6	2.6	7.9	0.9	3.5	3.5	0.9	0.9	1.8	3.5	0.9	2.6	2.6	
	③単身(未婚)女性	114	13.2	19.3	4.4	5.3	3.5	10.5	5.3	3.5	6.1	4.4	1.8	2.6	1.8	2.6	3.5	0.9	1.8	2.6	-	7.0
	④企業のチームリーダークラス(性別不問)	201	13.4	7.0	20.4	7.0	10.0	3.5	4.0	6.5	1.5	1.5	6.0	4.0	3.5	4.5	2.0	2.5	-	1.5	0.5	1.0

2. 環境分析・戦略策定

従業員数

- 従業員数について最も高いのは、「51人～100人」(17.0%)である。次いで「2001人以上」(14.6%)、「101人～200人」(11.3%)、「21人～50人」(9.7%)、「501人～1000人」(9.7%)と続く。
- 割付別でみると、③単身(未婚)女性は「2001人以上」が最も高い。

Q2 あなたがお勤めの会社の従業員数をお答えください。

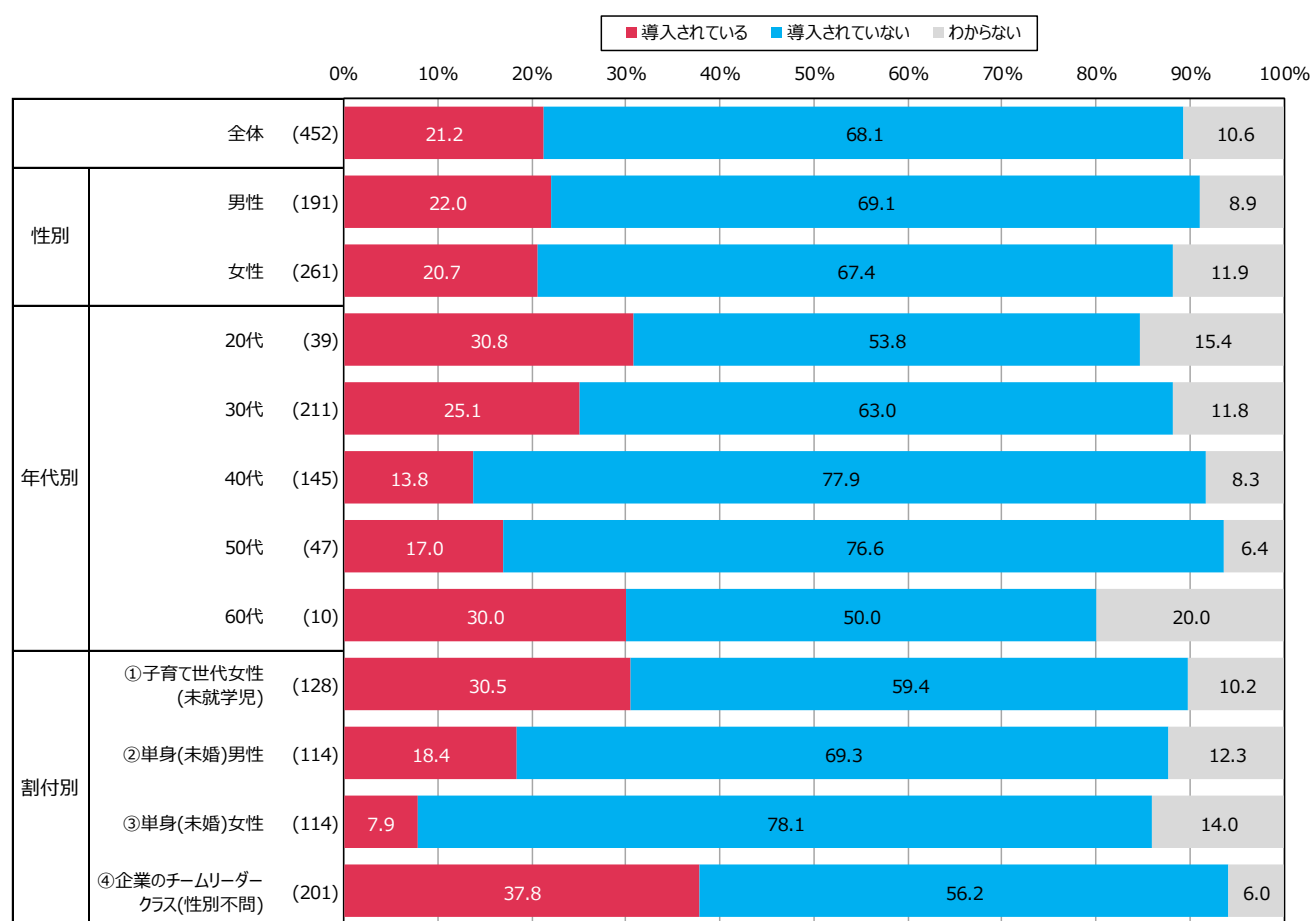


2. 環境分析・戦略策定

ワーケーションの制度導入状況

- ワーケーション制度を「導入されている」割合は21.2%である。
- 割付別でみると、④企業のチームリーダークラス(性別不問)は「導入されている」の割合が全体よりも高い。

Q3 あなたがお勤めの企業ではワーケーションが制度として導入されていますか。



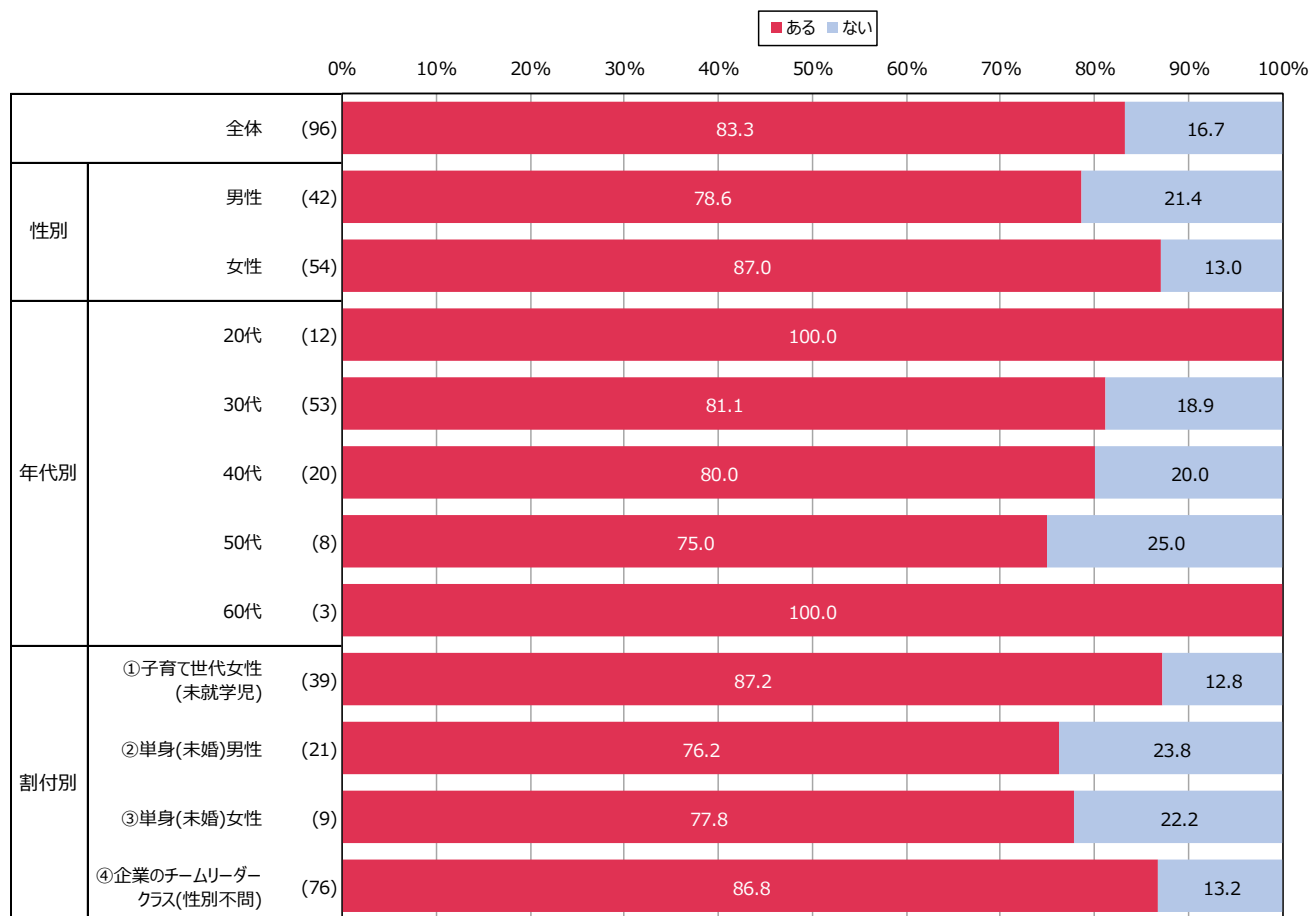
2%未満の数値ラベルは非表示

2. 環境分析・戦略策定

ワーケーション制度の利用経験

ワーケーション制度の利用経験が「ある」割合は83.3%である。

Q4 あなたご自身はワーケーション制度を利用したことがありますか。



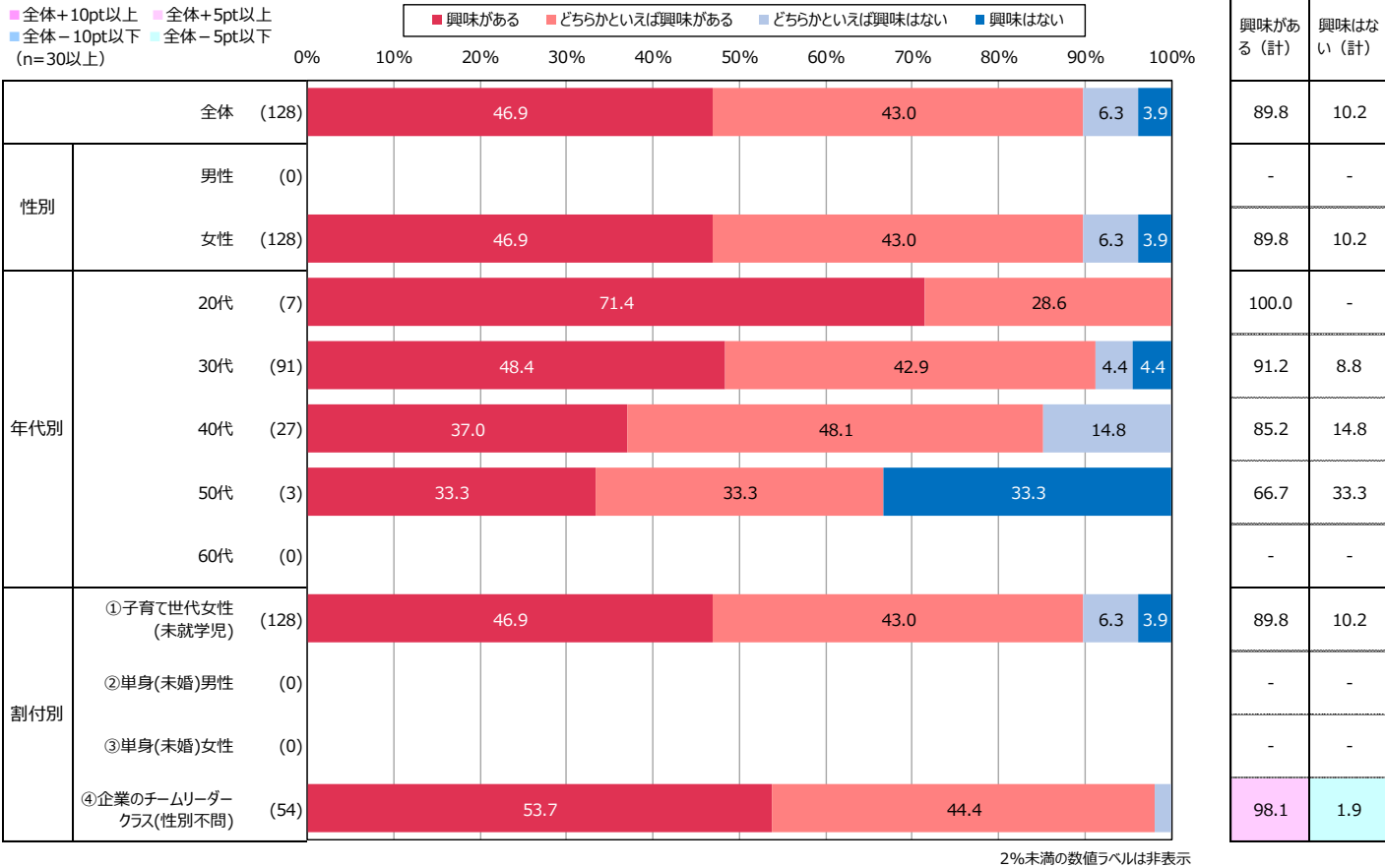
2%未満の数値ラベルは非表示

2. 環境分析・戦略策定

旅行先に滞在して仕事をするものの興味度

旅行先に滞在して仕事をするものの興味度については、「興味がある」は46.9%、「どちらかといえば興味がある」(43.0%)を合計すると89.8%である。

Q5 あなたは、1～2週間程度、子どもや夫と旅行先に滞在して仕事をするものに興味がありますか。

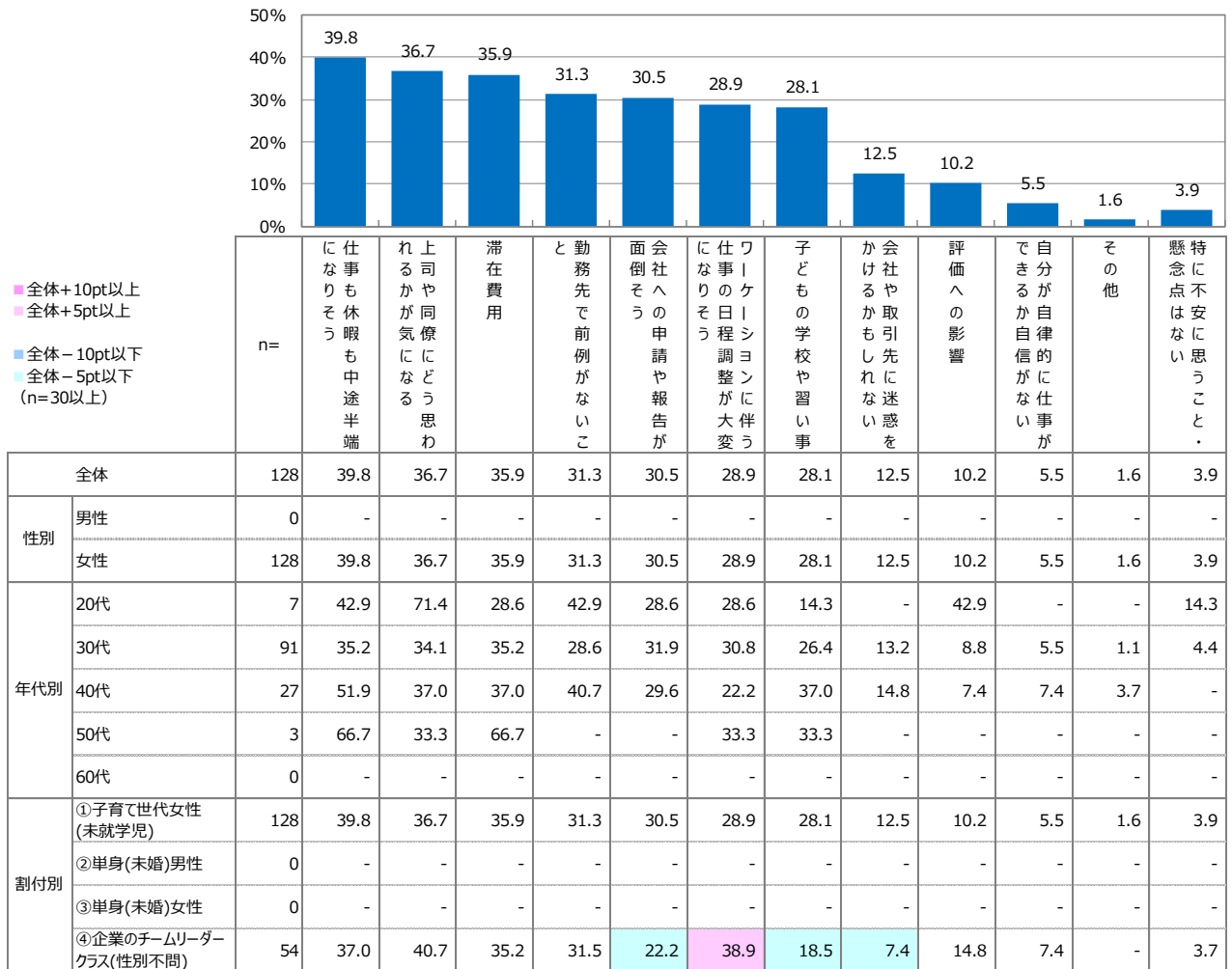


2. 環境分析・戦略策定

旅行先に滞在して仕事をする場合の不安点

旅行先に滞在して仕事をする場合の不安点について最も高いのは、「仕事も休暇も中途半端になりそう」(39.8%)である。次いで「上司や同僚にどう思われるかが気になる」(36.7%)、「滞在費用」(35.9%)、「勤務先で前例がないこと」(31.3%)と続く。

Q6 あなたが、1～2週間程度、子どもや夫と旅行先に滞在して仕事をするとした場合、不安に思うこと・懸念点を教えてください。

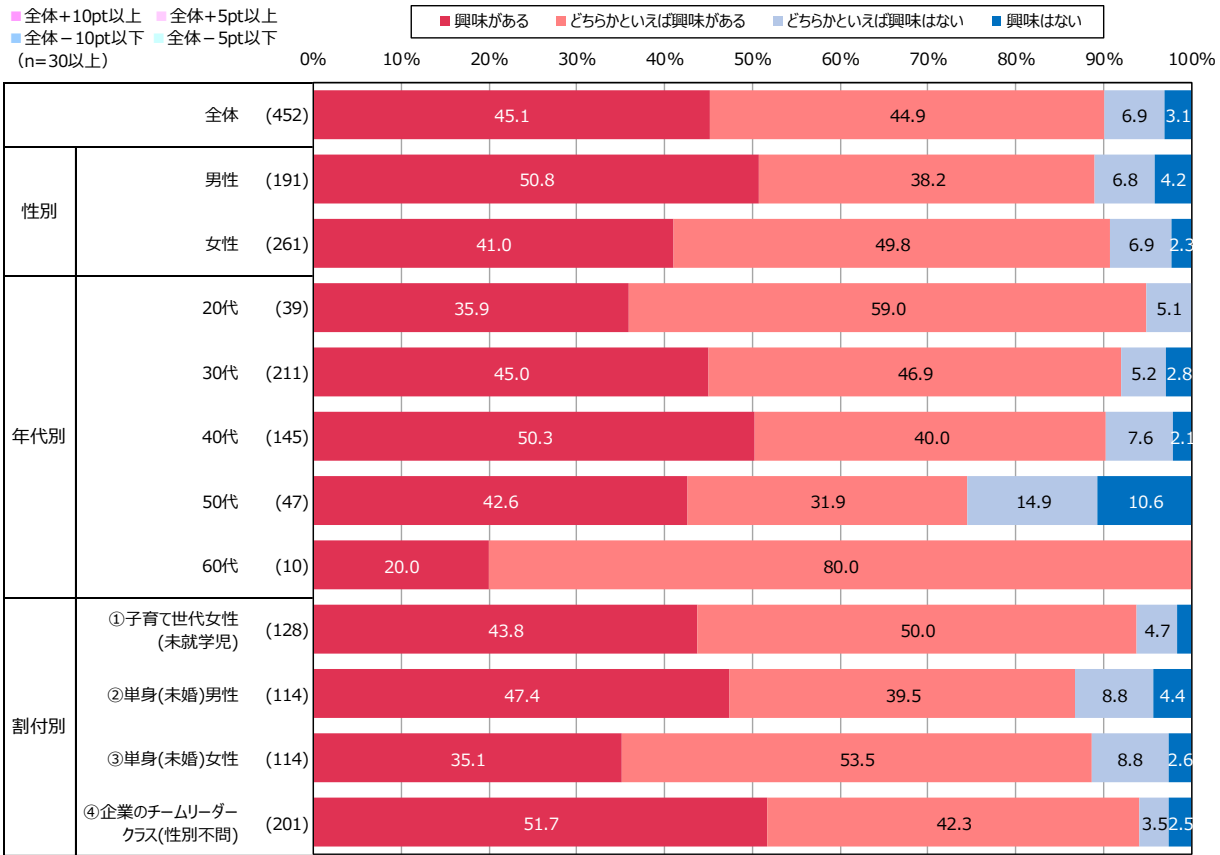


2. 環境分析・戦略策定

余暇に観光を楽しむような働き方への興味度

余暇に観光を楽しむような働き方への興味度については、「興味がある」は45.1%、「どちらかといえば興味がある」(44.9%)を合計すると90.0%である。

Q7 あなたは、出張先等での滞在を延長するなどして余暇に観光を楽しむような働き方に興味がありますか。



2%未満の数値ラベルは非表示

2. 環境分析・戦略策定

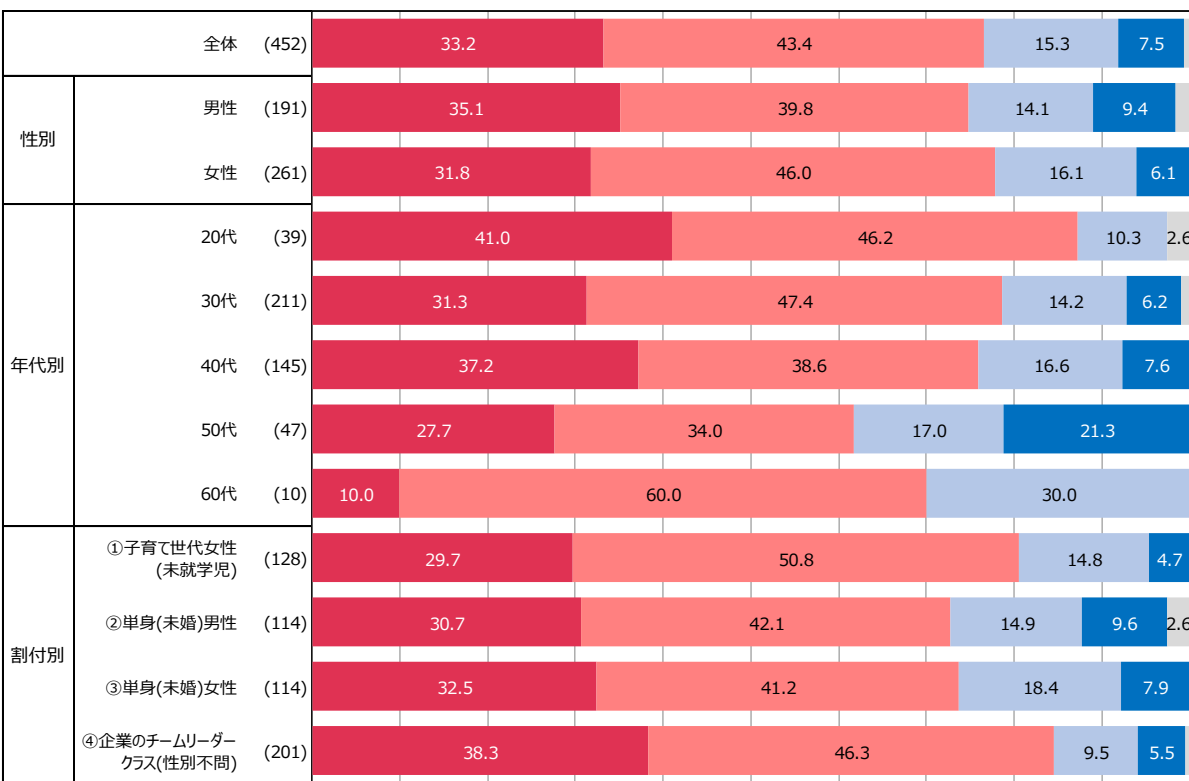
「デジタルノマド」の興味度

- 「デジタルノマド」の興味度については、「興味がある」は33.2%、「どちらかといえば興味がある」(43.4%)を合計すると76.5%である。
- 年代別で見ると、20代は「興味がある(計)」の割合が全体よりも高い。

Q8 あなたは、「デジタルノマド」という働き方に興味はありますか。



興味がある(計)	興味はない(計)
76.5	22.8
74.9	23.6
77.8	22.2
87.2	10.3
78.7	20.4
75.9	24.1
61.7	38.3
70.0	30.0
80.5	19.5
72.8	24.6
73.7	26.3
84.6	14.9



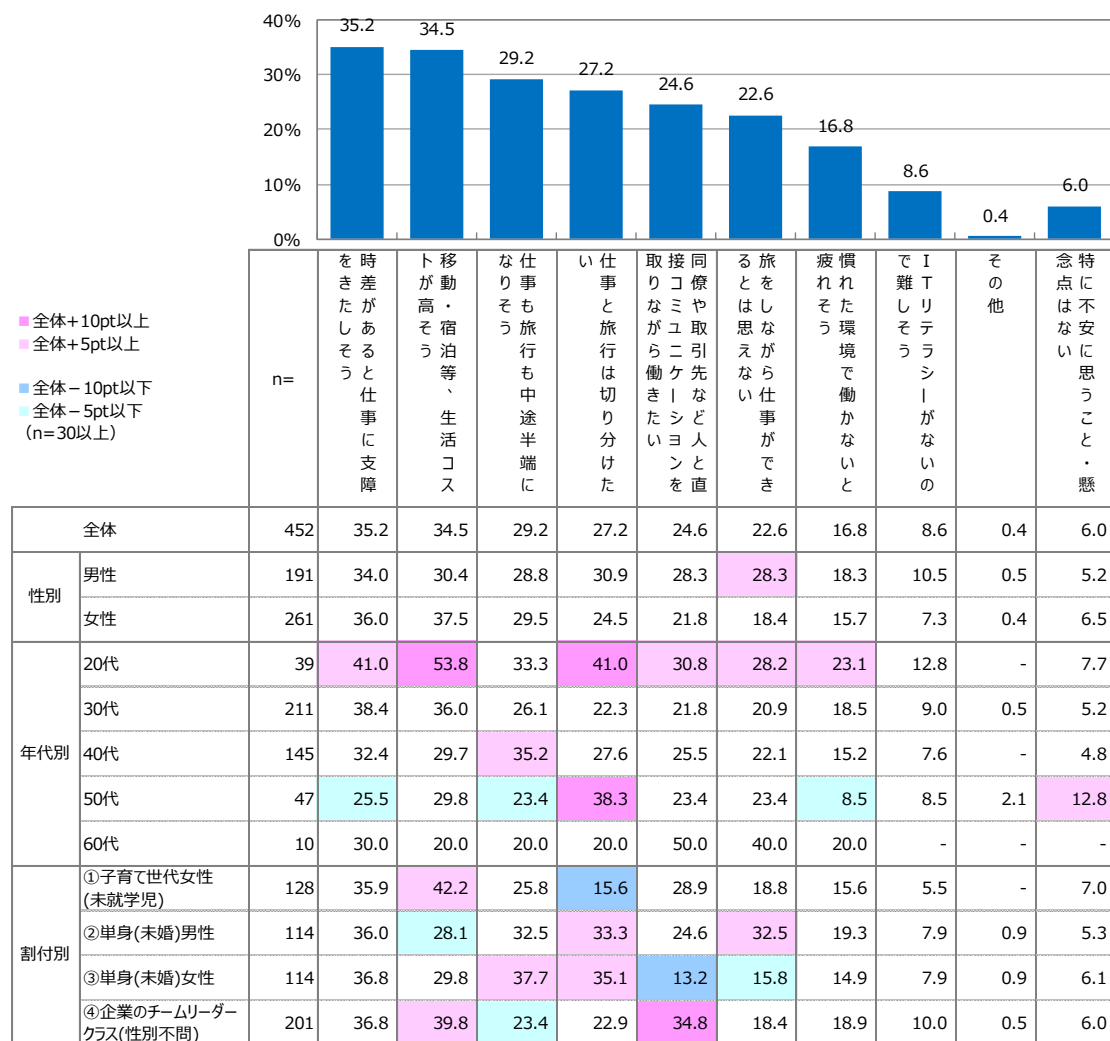
2%未満の数値ラベルは非表示

2. 環境分析・戦略策定

「デジタルノマド」の不安点

- 「デジタルノマド」の不安点について最も高いのは、「時差があると仕事に支障をきたしそう」(35.2%)である。次いで「移動・宿泊等、生活コストが高そう」(34.5%)、「仕事も旅行も中途半端になりそう」(29.2%)、「仕事と旅行は切り分けたい」(27.2%)と続く。
- 年代別で見ると、20代は「移動・宿泊等、生活コストが高そう」の割合が全体よりも高い。
- 割付別で見ると、①子育て世代女性(未就学児)は「移動・宿泊等、生活コストが高そう」が最も高い。

Q9 「デジタルノマド」の働き方をするとした場合、不安に思うこと・懸念点を教えてください。

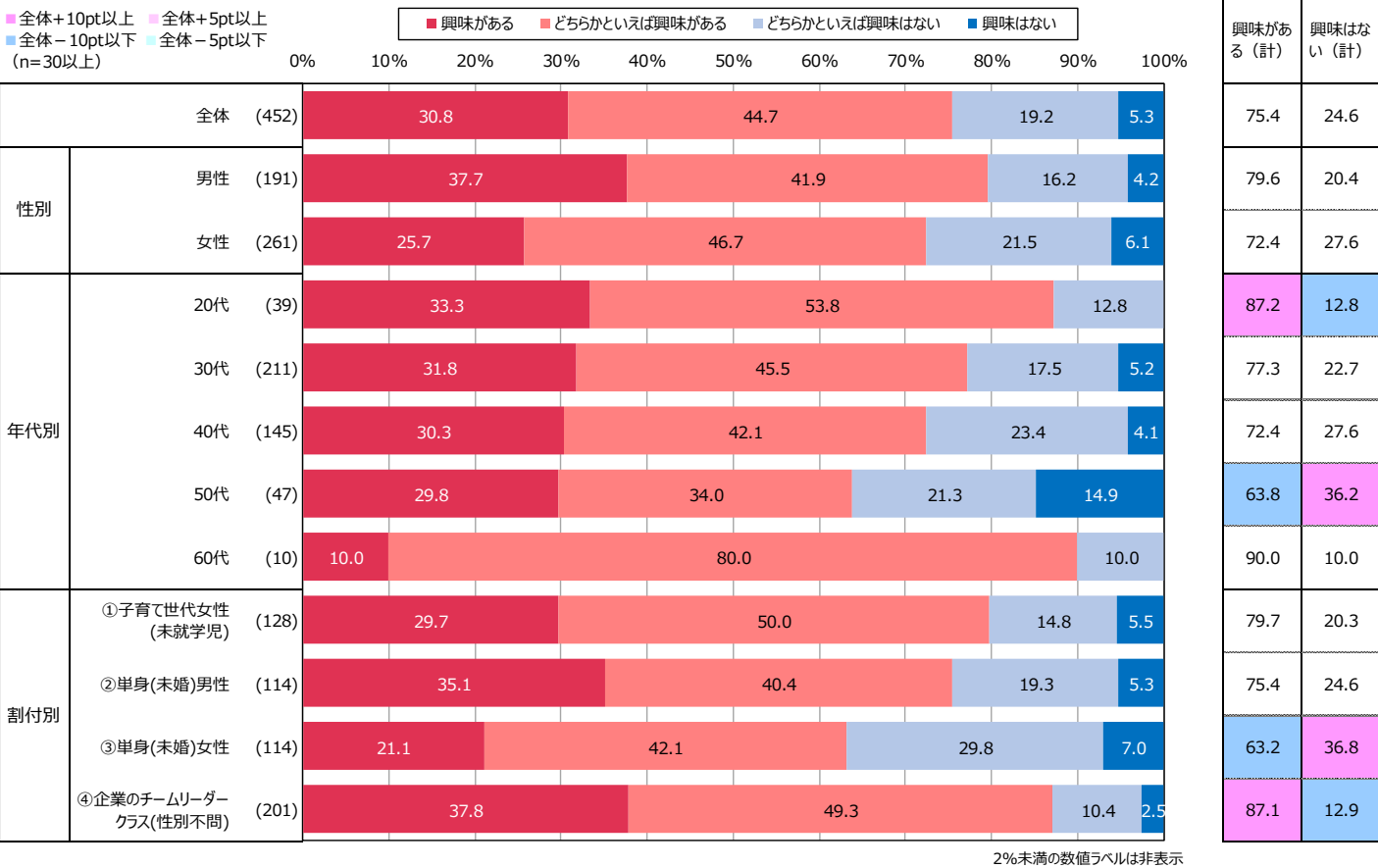


2. 環境分析・戦略策定

チームで行うワーケーションを行うことの興味

- チームで行うワーケーションを行うことの興味については、「興味がある」は30.8%、「どちらかといえば興味がある」(44.7%)を合計すると75.4%である。
- 年代別で見ると、20代は「興味がある(計)」の割合が全体よりも高い。
- 割付別で見ると、④企業のチームリーダークラス(性別不問)は「興味がある(計)」の割合が全体よりも高い。

Q10 あなたは、職場のチームメンバー同士のコミュニケーションを充実させるため、チームで行うワーケーションを行うことに興味がありますか。

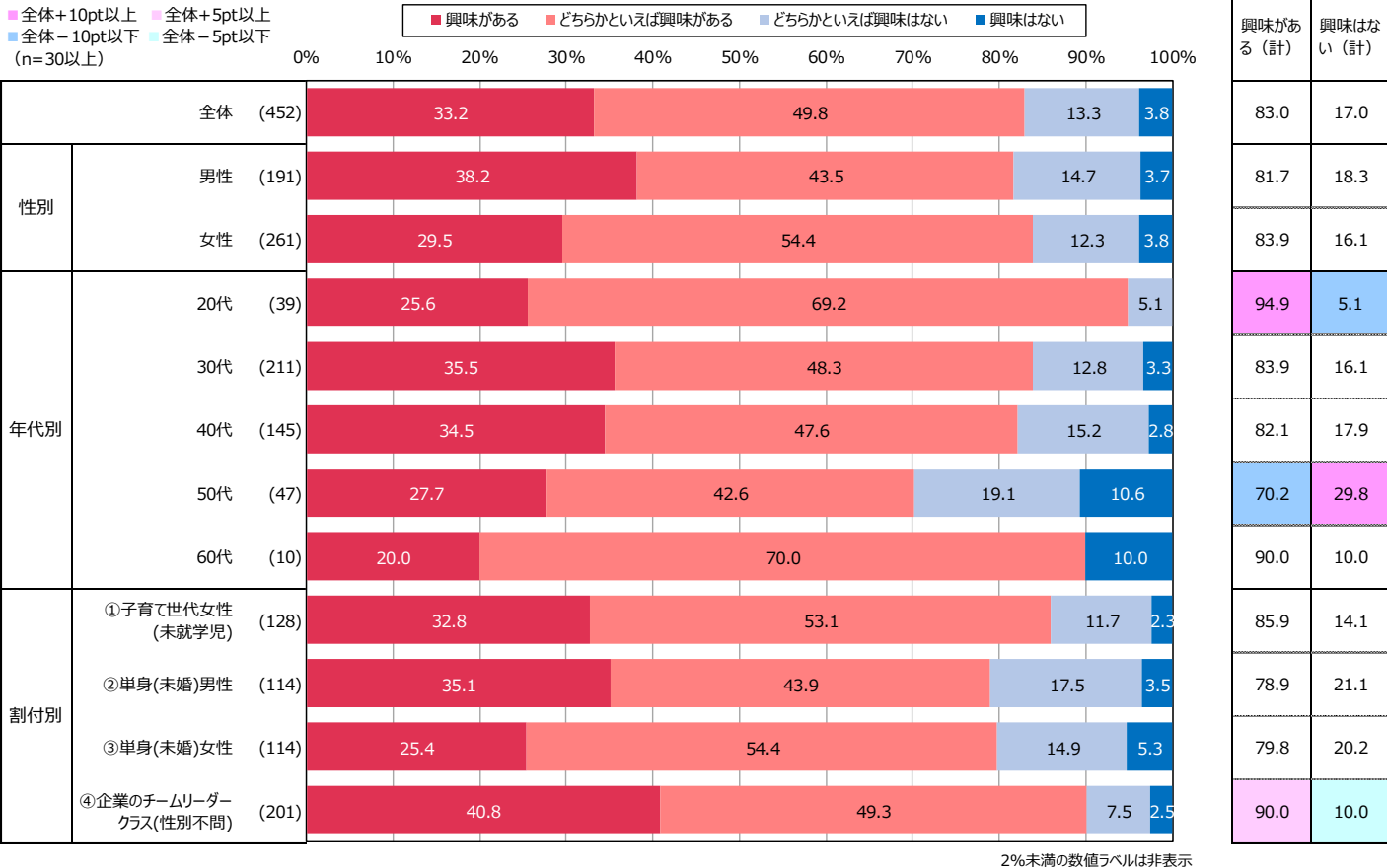


2. 環境分析・戦略策定

地域課題の解決策を共に考えるような働き方への興味

- 地域課題の解決策を共に考えるような働き方への興味については、「興味がある」は33.2%、「どちらかといえば興味がある」(49.8%)を合計すると83.0%である。
- 年代別で見ると、20代は「興味がある(計)」の割合が全体よりも高い。

Q11 あなたは、仕事の滞在先の地域関係者との交流を通じて、地域課題の解決策を共に考えるような働き方に興味がありますか。

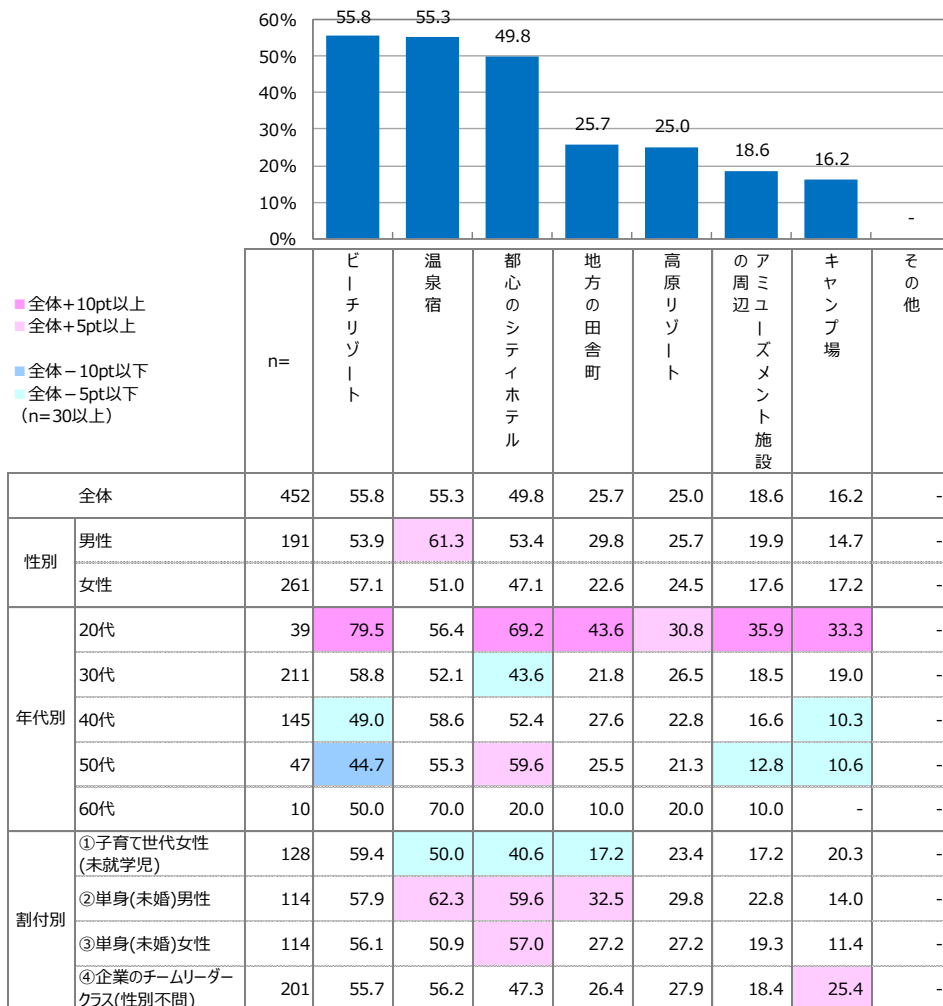


2. 環境分析・戦略策定

ワーケーションをしたい場所

- ワーケーションをしたい場所について最も高いのは、「ビーチリゾート」(55.8%)である。次いで「温泉宿」(55.3%)、「都心のシティホテル」(49.8%)、「地方の田舎町」(25.7%)と続く。
- 性別で見ると、男性は「温泉宿」が最も高い。
- 年代別で見ると、40代は「温泉宿」が最も高い。全体と比較すると、20代は「アミューズメント施設の周辺」「キャンプ場」「ビーチリゾート」「地方の田舎町」「都心のシティホテル」の割合が全体よりも高い。

Q12 あなたはワーケーションをするならどのような場所ですたいと思いますか。

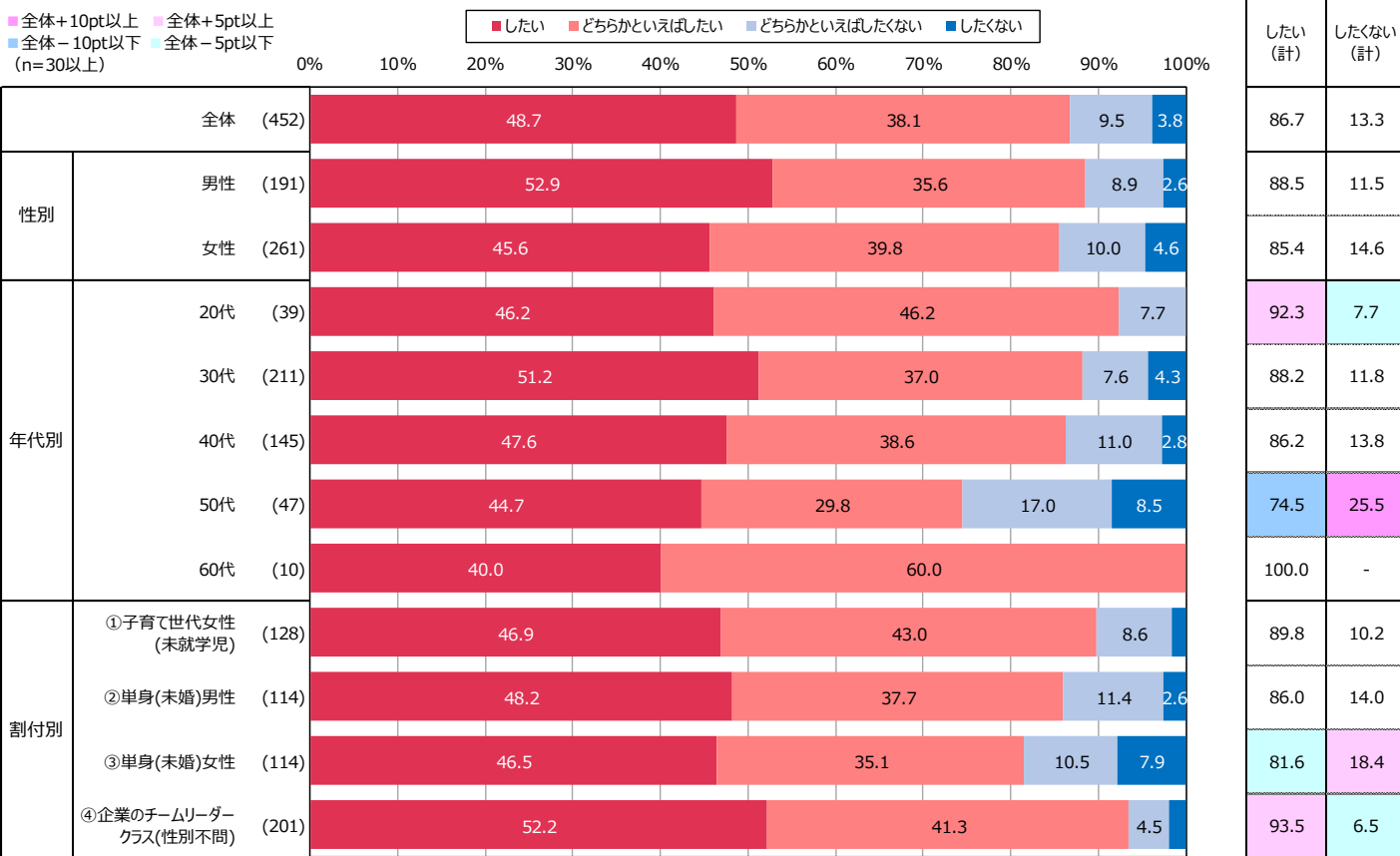


2. 環境分析・戦略策定

日本に滞在してワーケーションをしたいか

日本に滞在してワーケーションをしたいかについては、「したい」は48.7%、「どちらかといえばしたい」(38.1%)を合計すると86.7%である。

Q13 あなたは、日本に滞在してワーケーションをしてみたいと思いますか。



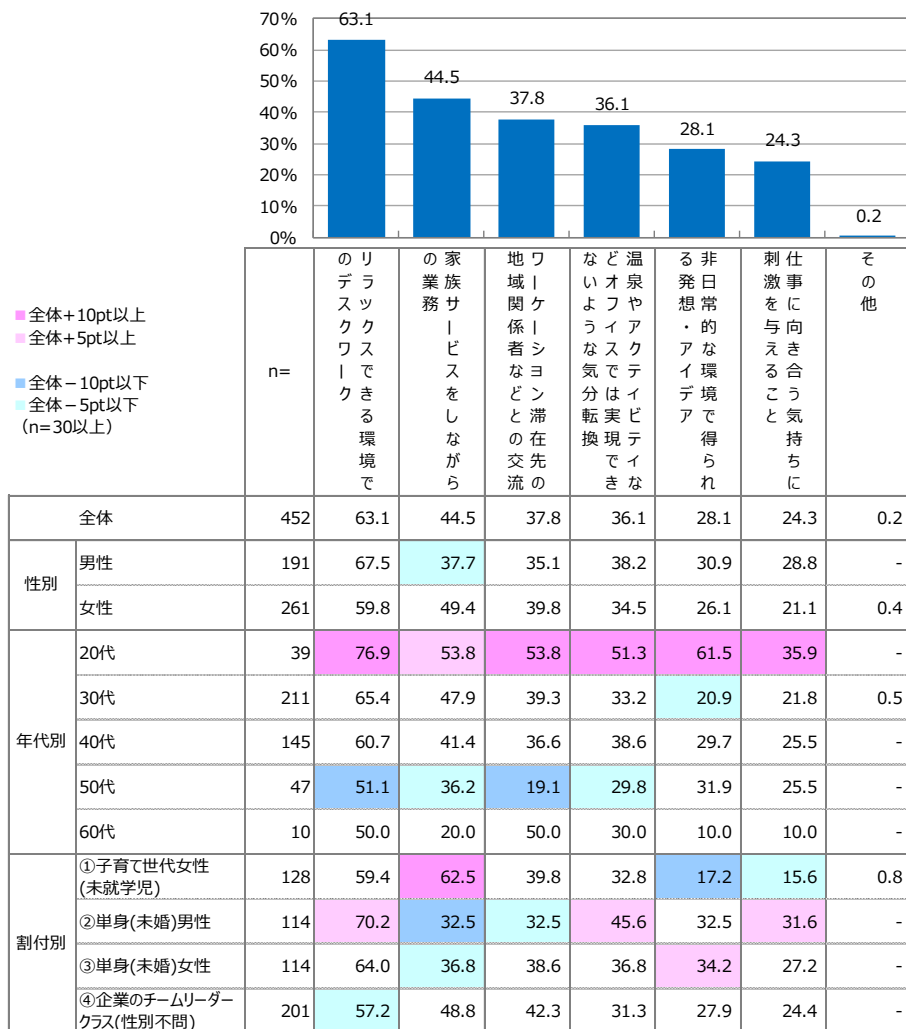
2%未満の数値ラベルは非表示

2. 環境分析・戦略策定

ワーケーションをすることで、仕事面に関心があること

- ワーケーションをすることで、仕事面に関心があることについて最も高いのは、「リラックスできる環境でのデスクワーク」(63.1%)である。次いで「家族サービスをしながらの業務」(44.5%)、「ワーケーション滞在先の地域関係者などとの交流」(37.8%)、「温泉やアクティビティなどオフィスでは実現できないような気分転換」(36.1%)と続く。
- 年代別で見ると、20代は「ワーケーション滞在先の地域関係者などとの交流」「温泉やアクティビティなどオフィスでは実現できないような気分転換」「非日常的な環境で得られる発想・アイデア」の割合が全体よりも高い。
- 割付別で見ると、①子育て世代女性(未就学児)は「家族サービスをしながらの業務」の割合が全体よりも高い。

Q14 あなたがワーケーションをすることで、仕事面に関心があることをお答えください。



(2) SWOT分析

事業者ヒアリング、事例調査、アンケート調査結果をふまえ、SWOT分析を実施。
導出された結果を基にクロスSWOTを行い、戦略立案につなげた。

①強み

- ・ 佐渡金山という唯一無二の歴史
- ・ 朱鷺との共生
- ・ 佐渡に到着した瞬間から非日常感が漂う（海を渡ることの特別感）
- ・ 島の規模が大きく、様々なインフラが整っている
- ・ ワークेशन推進に積極的なプレイヤーが揃っている
- ・ ワークेशन推進に対して過去に取り組んできた実績が散見される
- ・ 地域活性化の取り組みを行っている各種団体の存在

②弱み

- ・ 離島であることから、業務上何かトラブルが発生した際など緊急で帰ることができない
- ・ 陸続きの場所から比較して交通費が割高になる
- ・ 現地で各施設やプログラムをアレンジしてくれるような窓口の不在

③機会

- ・ 今後もテレワークは推奨される傾向である
- ・ テレワークが進むことでチームビルディングに課題を抱えている企業が増えている
- ・ 企業におけるCSRの観点から地域貢献は必要な取り組みの一つと認識されている
- ・ 子ども連れワークेशनが人気であり、予約待ちが続いている
- ・ 海外ではいわゆるワークेशनを活用する人「デジタルノマド」が出現しており、台湾ではコミュニティが存在する
- ・ 欧米では「デジタルノマドVISA」を導入する国が多く、観光VISAとビジネスVISAの中間に位置付けられている
- ・ これらの取り組みを進めている国や地域は多くの「デジタルノマド」を誘客できている
- ・ 台湾におけるデジタルノマドの興味は若年層ほど高い
- ・ 台湾では家族単位でのワークेशनに興味があると回答した割合は約9割
- ・ 台湾におけるワークेशनの関心はリラックスできる環境でのデスクワーク
- ・ 台湾では8割以上が日本に滞在してワークेशनを行いたいと回答

④脅威

- ・ コロナがある程度終息した後、働く人の意識がテレワーク型から出社型に変化するリスク
- ・ 海外から誘客するうえで法律の壁があるため、ビジネス特区のような特例が可能であるか

2. 環境分析・戦略策定

(3) 戦略骨子

前ページのSWOT分析結果よりクロスSWOT分析を行い、戦略の方向性を導出した。強みを生かした戦略では、3つのテーマ案と、中長期視点の取組の方向性を整理し、弱みを機会と見做し、補う取り組みとしては受け入れ態勢整備に向けた取組を整理した。

	強み	弱み
	<ul style="list-style-type: none"> ① 佐渡金山という唯一無二の歴史 ② 朱鷺との共生 ③ 佐渡に到着した瞬間から非日常感が漂う（海を渡ることの特別感） ④ 島の規模が大きく、様々なインフラが整っている ⑤ ワークेशन推進に積極的なプレイヤーが揃っている ⑥ ワークेशन推進に対して過去に取り組んできた実績が散見される ⑦ 地域活性化の取り組みを行っている各種団体の存在 ⑧ 台湾におけるデジタルノマドの興味は若年層ほど高い ⑨ 台湾では家族単位でのワークेशनに興味があると回答した割合は約9割 ⑩ 台湾におけるワークेशनの関心はリラックスできる環境でのデスクワーク ⑪ 台湾では8割以上が日本に滞在してワークेशनを行いたいと回答 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 離島であることから、業務上何かトラブルが発生した際など緊急で帰ることができない ⑨ 陸続きの場所から比較して交通費が高くなる ⑩ 現地で各施設やプログラムをアレンジしてくれるような窓口の不在
<p style="text-align: center;">機会</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 今後もテレワークは推奨される傾向である b. テレワークが進むことでチームビルディングに課題を抱えている企業が増えている c. 企業におけるCSRの観点から地域貢献は必要な取り組みの一つと認識されている d. 子ども連れワークेशनが人気であり、予約待ちが続いている e. 海外ではいわゆるワークेशनを活用する人「デジタルノマド」が出現しており、台湾ではコミュニティが存在する f. 欧米では「デジタルノマドVISA」を導入する国が多く、観光VISAとビジネスVISAの中間に位置付けられている g. これらの取り組みを進めている国や地域は多くの「デジタルノマド」を誘客できている 	<p style="text-align: center;">1. SADOワークेशन テーマ案</p> <p>ア. 子供連れワークेशन (③④⑨×d)</p> <p>イ. ②チームビルディング型 (①②⑦×abc)</p> <p>ウ. デジタルノマド (①②⑥⑧×efg)</p>	<p style="text-align: center;">3. 受入体制の整備</p> <p>エ. SADOワークेशन推進 協議会の設立 (⑫⑬×a)</p>
<p style="text-align: center;">脅威</p> <ul style="list-style-type: none"> h. コロナがある程度終息した後、働く人の意識がテレワーク型から出社型に変化するリスク i. 海外から誘客するうえで法律の壁があるため、ビジネス特区のような特例が可能であるか 	<p style="text-align: center;">2. 中長期視点</p> <p>オ. ワークेशनから移住定 住につなげる (④×h)</p> <p>カ. ワークेशन型インバウ ンド誘客のプロジェクト立ち 上げ (①②×i)</p>	<div style="text-align: center;">/</div>

2. 環境分析・戦略策定

(4) ターゲット設定

①テーマ設定

クロスSWOT分析により、SADOワーケーションのテーマを下記の通り設定。

テーマ①：子ども連れワーケーション

キッチンハイクの実績や、佐渡市内の環境から、SADOワーケーションのテーマ①として「子ども連れワーケーション」を設定。

テーマ②：SADOデジタルノマド

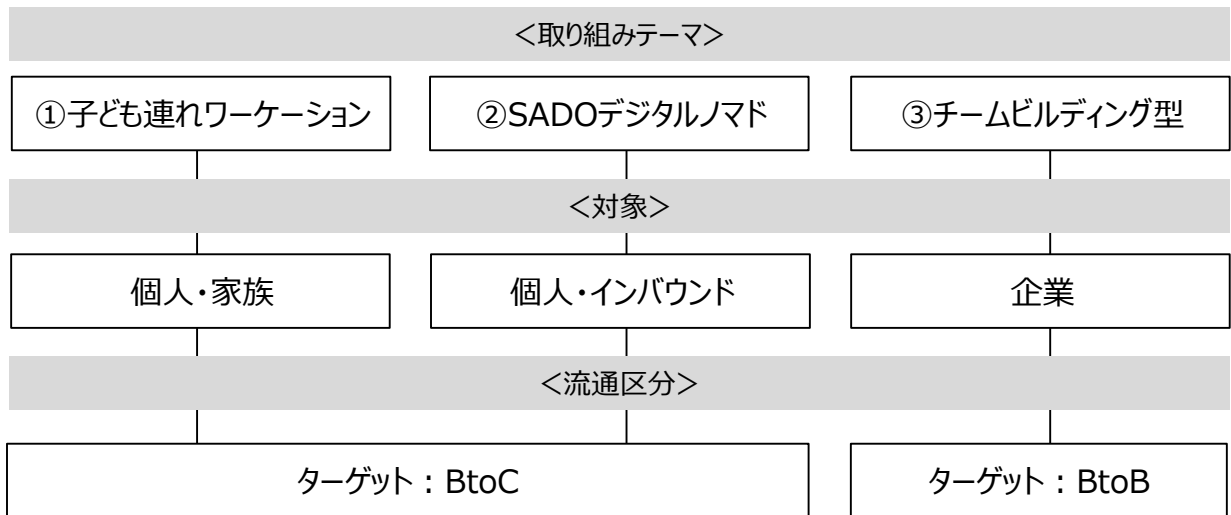
海外デスクリサーチ結果から、ワーケーション＝デジタルノマドとして一定の市場を確認。ワーケーションとインバウンド誘致を掛け合わせたSADOワーケーションのテーマとして「SADOデジタルノマド」を設定。

テーマ③：チームビルディング型

包括連携企業へのヒアリング結果から、佐渡市への期待感や各企業の協力体制が整っている現状を踏まえ、SADOワーケーションのテーマ②として「チームビルディング型」を設定。

それぞれのテーマにおけるターゲットを以下の通り整理する。

②ターゲットの考え方



③プロジェクト推進の方向性

BtoCターゲットの取組

地元の受入れ事業者、株式会社キッチンハイク、株式会社ADDRESS等を中心に協議を重ね取組内容固めていく。

BtoBターゲットの取組

地元の受入れ事業者、包括企業を中心に協議を重ね取組内容固めていく。

+

インバウンド誘致施策と連動

2. 環境分析・戦略策定

(5) ワークーション受入施設調査

前頁までの考え方から、佐渡市内における受入れ施設を整理する。

①子ども連れワークーションに適した施設（一時預かり場所候補）

- 保育園：公立：17園 私立：7園

⇒一時預かり可能施設：「沢根保育園」

※公立での一時預かりは難しいため私立保育園から拡大していく。

- 児童クラブ（学童保育）：域内13か所

- 認定こども園：佐渡市立あいかわこども園 〒952-1582 相川下戸村218-7

- 子育てコミュニティ：「こども未来舎りぜむ」

- 一時預かり・託児所

- トキの島ファミリー・サポート・センター

〒952-1292 新潟県佐渡市千種232番地

(<https://www.city.sado.niigata.jp/soshiki/2010/3950.html>)

概要：子育てをお手伝いしてほしい方（依頼会員）と、子育てをお手伝いしてくれる方（提供会員）が会員登録し、お互いに助け合う地域の子育てサポート組織。

- 体験プログラム・アクティビティ（子供向け）

- 佐渡西三川ゴールドパーク

〒952-0434 新潟県佐渡市西三川835-1

(<http://www.e-sadonet.tv/goldpark/>)

アクティビティ：砂金取り体験、金山の歴史、展示資料の見学、お土産

- トキの森公園

〒952-0101 新潟県佐渡市新穂長畝383番地2

(<https://www.city.sado.niigata.jp/site/tokinomori/>)

アクティビティ：トキの見学、展示資料の見学

- 小木ダイビングセンター（佐渡島・海の体験学習協会）

〒952-0606 新潟県佐渡市琴浦225-2

(<https://www.sado-diving.com/>)

アクティビティ：ダイビング、シュノーケリング、シーカヤック

- オートパークさわた

〒952-1321 新潟県佐渡市 山田1469

(<https://www.visitsado.com/spot/detail0273/>)

アクティビティ：アウトドア、キャンプ



※画像は公式サイトより



※画像は公式サイトより



※画像は公式サイトより



※画像は公式サイトより

2. 環境分析・戦略策定

・長谷寺：

〒952-0204佐渡市長谷13

(<https://sado-choukokuji.jp/>)

アクティビティ、見どころ：ウサギ餌やり、ウサギ観音、境内の見学

・たらい舟（たらい舟力屋観光汽船）

〒952-0604 新潟県佐渡市小木町184

(<http://park19.wakwak.com/~rikiyakankou/>)

アクティビティ：たらい舟、観光船、モーターボート



※画像は公式サイトより



※画像は公式サイトより

②仕事環境に関する施設

● コワーキングスペース

・SADO PORT LOUNGE :

〒952-0014 新潟県佐渡市両津湊 3 5 3 - 1 3階
(<https://sadoportlounge.biz/>)

概要：新潟県佐渡市両津港に2022年にオープンしたシェアオフィス・ coworkingスペース。佐渡の古材などを利活用した当施設は佐渡の魅力を感じることができる施設です。佐渡の美しい海と山を眺めながら集中してビジネスに取り組める環境をご用意しております(公式サイトより)。

coworkingスペース50席、シェアオフィス、会議室併設

・敷島荘 :

〒952-1643 新潟県佐渡市 稲鯨 1354
(<http://www.sado-shikishima.com/>)

概要：観光旅館。観光庁の高付加価値補助金で2部屋をワーケーション施設としてリノベーション。

※HP内ではcoworkingスペースへの記載無し

・ほてる志い屋 :

〒952-0028 新潟県佐渡市加茂歌代4916-7
(<https://www.hotel-shiia.com/>)

概要：観光旅館。HPトップにてワーキングスペース紹介有
宿泊者はワーキングスペースを無料で使用可 (客室はWi-Fi完備)

・HOSTEL perch :

〒952-1315 新潟県佐渡市河原田諏訪町4
(<https://www.s-perch.com/about>)

概要：ゲストハウス。coworkingスペース有、座席+モニター、ストリーミング配信も対応 (マイク、ミキサー、エンコーダ、照明導入済み)
(<https://www.s-perch.com/coworking-space>)
coworkingスペースは月額利用も可 (月額9,000円)
オープンスペースと個室ブース有。



※画像は公式サイトより



※画像は佐渡観光ナビより



※画像は公式サイトより



※画像は公式サイトより

2. 環境分析・戦略策定

・Stay & Work 佐渡 :

〒952-1307 新潟県佐渡市東大通822-1
(<https://www.primosado.jp/stay-work/>)

概要 : ゲストハウス。ミーティング・ワークルーム設置、LAN設置、モニター完備



※画像は公式サイトより

・THIRDPLACE :

〒952-1302 新潟県佐渡市市野沢839-1
(<https://thirdplace.jp/lodge>)

概要 : ゲストハウス・囲炉裏小屋・音楽スタジオを併設した複合施設。シェアスペース有、Wi-Fi完備



※画像は公式サイトより

・民宿 桃華園 :

〒952-1208新潟県佐渡市金井新保乙1636-1
(<https://minsyuku-toukaen.com/>)

概要 : 民宿ワーケーションスペース有、Wi-Fi完備



※画像は公式サイトより

・たたこ館

〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田150-3
(<http://www.sadotaiken.jp/>)

概要 : ホール、伝統料理体験室、展示室、会議室を備えた木造の建物、体験プログラムも多数。会議室、カフェ設置、ワークショップ等の利用可



※画像は公式サイトより

2. 環境分析・戦略策定

● コワーキングスペースを提供している宿泊施設

・ゲストハウスUZU佐渡：
〒952-1207新潟県佐渡市貝塚802-1
(<https://uzusado.jp/>)

概要：古民家を利用したゲストハウス。最大10名利用可。
HP内にワーケーション利用の紹介ページあり。
(<https://uzusado.jp/utilize/>)
ダイニングアウトイベント対応、研修施設としての使用可



※画像は公式サイトより

・Ryokan 浦島：
〒952-1325 新潟県佐渡市窪田978-3
(<https://www.urasima.com/>)

概要：観光ホテル、ミーティングルーム有、無線LAN完備



※画像は公式サイトより

・ゲストハウス華屋：
〒952-0604 新潟県佐渡市小木町845-2
概要：個室型ゲストハウス。ワーケーション利用可、ラウンジがコワーキングスペースとして利用可



※画像は公式サイトより

・長蔵：
〒952-1321 新潟県佐渡市山田58-1
(<https://chozo-sadoisland.jp/>)

概要：古民家利用の宿。レンタルスペース有（ワークショップ等に利用可）
(<https://chozo-sadoisland.com/about/>)



※画像は公式サイトより

● 単身で訪れた際の宿泊施設 (ワーケーション対応、又はワーケーションプラン販売)

・敷島荘 :

〒952-1643 新潟県佐渡市 稲鯨 1354
(<http://www.sado-shikishima.com/>)
2部屋をワーケーション施設として利用可



※画像は佐渡観光ナビより

・ほてる志い屋 :

〒952-0028 新潟県佐渡市加茂歌代4916-7
(<https://www.hotel-shiia.com/>)
コワーキングスペースあり (<https://www.hotel-shiia.com/>)



※画像は公式サイトより

・伊藤屋 :

〒952-0318 佐渡市真野新町278
(<https://itouyaryokan.com/>)
ワーケーションプランあり、ブログにて情報発信



※画像は公式サイトより

・HOSTEL perch :

〒952-1315 新潟県佐渡市河原田諏訪町4
(<https://www.s-perch.com/about>)
コワーキングスペース有



※画像は公式サイトより

・ゲストハウスUZU佐渡 :

〒952-1207新潟県佐渡市貝塚802-1
(<https://uzusado.jp/>)
HP内にワーケーション利用の紹介ページ



※画像は公式サイトより

・Stay & Work 佐渡 :

〒952-1307 新潟県佐渡市東大通822-1
(<https://www.primosado.jp/stay-work/>)
ミーティング・ワークルーム設置



※画像は公式サイトより

・THIRDPLACE :

〒952-1302 新潟県佐渡市市野沢839-1
(<https://thirdplace.jp/lodge>)
シェアスペース有



※画像は公式サイトより

2. 環境分析・戦略策定

・ゲストハウスじんく

〒952-0014 新潟県佐渡市両津湊195-3
概要：ゲストハウス、一棟貸切有、Wi-Fi完備



※画像は公式サイトより

・Guest Villa on the 美一

〒952-1315 新潟県佐渡市 河原田諏訪町 207-76
概要：宿泊、レストラン、ホールの複合施設。
シェアスペース有、Wi-Fi完備



※画像は佐渡観光ナビより

・Ryokan 浦島：

〒952-1325 新潟県佐渡市窪田978-3
(<https://www.urasima.com/>)
ミーティングルーム有



※画像は公式サイトより

・御宿 花の木

〒952-0612 新潟県佐渡市宿根木78-1
(<http://www.sado-hananoki.com/about/index.php>)



※画像は佐渡観光ナビより

・尖閣荘：

〒952-2134 新潟県佐渡市姫津1431-2
(<https://senkakusou.com/>)
HP内ワーケーション利用可の表記



※画像は楽天トラベルより

・ゲストハウス華屋：

〒952-0604 新潟県佐渡市小木町845-2
ワーケーション利用可、ラウンジがコワーキングスペースとして利用可



※画像は公式サイトより

・お宿隠家：

〒952-3432 新潟県佐渡市椎泊67-1
(<https://sado-kakureya.com/>)
ゲストハウス利用の宿泊施設。



※画像は楽天トラベルより

・いせや新館：

〒952-1324 新潟県佐渡市中原476-1
ゲストハウス、一棟貸切可、ワーケーション利用可



※画像は佐渡観光ナビより

2. 環境分析・戦略策定

・民宿 桃華園：

〒952-1208新潟県佐渡市金井新保乙1636-1
(<https://minsyuku-toukaen.com/>)
ワーケーションスペース有



※画像は公式サイトより

・ホテル吾妻：

〒952-1646新潟県佐渡市相川大浦548-1
(<https://hotel-azuma.jp/>)



※画像は公式サイトより

・ホテル ファミリーオ 佐渡相川：

〒952-2136 新潟県佐渡市小川1267-1
(<https://familio-folkloro.com/sadoaikawa/>)
ワーケーションプラン販売



※画像は公式サイトより

● 地域に馴染むための取組の有無

・**にいがた暮らしごとセンター：U・Iターン支援**
(SEO的にも「U・Iターン」で検索すると、上部に表示されてくる)

・年間を通じた地域イベントの開催

祭り

- ・両津えびす祭 (6月15日・16日)
- ・佐渡小木たらい舟・さざえ祭り (6月18日)
- ・鉾山祭 (7月23日、24日)
- ・赤泊港まつり (8月上旬)
- ・両津七夕・川開き (8月7、8日)
- ・小木港祭り (8月27日)
- ・獅子ヶ城まつり (8月11日～翌1月5日)



※画像は佐渡観光ナビより



※画像は佐渡観光ナビより



※画像は新潟観光協会サイトより



※画像は新潟観光協会サイトより

スポーツ

- ・佐渡ロングライド210 (5月21日)
- ・佐渡トキマラソン (月・日)



※画像は佐渡観光ナビより



※画像は佐渡観光ナビより

③チームビルディング型ワーケーションに適した施設

● 一棟貸し施設、施設毎の取組

- ・カールベックス古民家民宿YOSABEI :
〒952-1204 新潟県佐渡市三瀬川549
概要：古民家民宿、一棟貸切可
取組：島に移住した夫婦の経営、佐渡島の魅力を発信
- ・THIRDPLACE :
〒952-1302 新潟県佐渡市市野沢839-1
概要：ゲストハウス、囲炉裏小屋、スタジオ併設
- ・いせや新館 :
〒952-1324 新潟県佐渡市中原476-1
概要：一軒家型のゲストハウス、貸切可
- ・HOSTEL perch :
〒952-1315 新潟県佐渡市河原田諏訪町4
概要：ゲストハウス、一棟貸切可
- ・SEA SIDE HOUSE in しまふうみ :
〒952-0431 新潟県佐渡市大小923-5
概要：一棟貸のゲストハウス、最大収容5名まで
- ・Guest Villa on the 美一 :
〒952-1315 新潟県佐渡市 河原田諏訪町 207-76
概要：宿泊、レストラン、ホールの複合施設。
シェアスペース有、Wi-Fi完備
- ・ゲストハウスじんく :
〒952-0014 新潟県佐渡市両津湊195-3
概要：ゲストハウス、一棟貸切有、Wi-Fi完備
- ・Lake Front House Aozora (レイクフロントハウス あおぞら) :
〒〒952-3421 新潟県佐渡市吾潟129-1
(<https://lakefronthouseaozora.com/>)
概要：一棟貸しの宿、野草講座や身体と心を整える『自分最適化プログラム』などの
リトリートツアーを不定期で開催



※画像は「coLocal」より



※画像は公式サイトより



※画像は佐渡観光ナビより



※画像は公式サイトより



※画像は佐渡観光ナビより



※画像は佐渡観光ナビより



※画像は公式サイトより



※画像は公式サイトより

● 会議室

・SADO PORT LOUNGE

詳細は「コワーキングスペース」の項を参照。



※画像は公式サイトより

・たたこ館

〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田150-3

(<http://www.sadotaiken.jp/>)



※画像は公式サイトより

・あいぼーと佐渡（佐渡インフォメーションセンター）

〒952-0011 新潟県佐渡市両津夷384-11

概要：多目的ホール（約290人 収容可）を中心としたインフォメーションセンター。



※画像は佐渡市公式サイトより

・佐渡汽船ターミナル 貸し会議室

〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島9-1

概要：汽船ターミナルにお食事処、売店、貸し会議室を併設。



※画像は公式サイトより

・赤泊郷土資料館

〒952-0711 新潟県佐渡市赤泊2458

(<https://www.visitsado.com/spot/detail0049/>)

概要：佐渡の文化を紹介する資料館。



※画像は佐渡観光協会サイトより

・トキ交流会館

〒952-0103 佐渡市新穂潟上1101-1

(<https://tiera52.wixsite.com/website>)

概要：自然を活用した体験プログラムも提供、貸し会議室、宿泊も可。



※画像は佐渡観光協会サイトより

2. 環境分析・戦略策定

④ ワークショッププログラム

- 主催：一般社団法人佐渡観光交流推進機構 『学べる佐渡島』

太鼓芸能集団「鼓童」から学ぶ「つながる体験」

太鼓体験プログラム

佐渡を拠点に国際的に活動する太鼓芸能集団「鼓童」の経験と蓄積を活かした、たたこ館ならではのプログラムです。体験施設や施設内のベンチには地元産の杉を使用。また新潟県産の古木（樹齢600年）を大太鼓として再生させ体験に活用するなど、施設としても環境への配慮が体感できます。

太鼓を使った体験では、チームワーク、リーダーシップ、信頼関係の構築、非言語によるコミュニケーションの体験、ストレス削減など、様々な目的に活用いただけます。

- 参加者みんなで輪になって太鼓をたたく
- 大太鼓に挑戦
- 講師によるデモンストレーション鑑賞

対応SDGs目標

3 4 5 10 12 15 17



STORY/01

太鼓芸能集団「鼓童」メンバー・たたこ館スタッフ

宮崎 正美 さん



私は鼓童メンバーとして太鼓演奏のステージを13年間務めたのち、たたこ館での太鼓体験講師となりました。

鼓童には舞台を作り上げるというミッションがありますが、「それぞれの人がベストを尽くし、協力し合う」というところは企業で働くチームビルディングに通じると考えています。

企業研修向けのプログラムでは、言葉ではないところ（太鼓をたたく姿や相手が出す音、アイコンタクトなど）で相手の気持ちを**感じる・察する**、コミュニケーションを取るという、**五感**をフルに使った体験を楽しんでいただいています。

知らない人同士でも、太鼓を使うと一気に距離が縮まるところも面白いですね。

太鼓芸能集団「鼓童」は、40年に渡り世界中で公演活動を行っていますが、出会う人達とお互いの文化や生活、価値を認め合い、旅を続けてまいりました。今後、このことを「伝えていく」ことも重要だと考えています。これからも太鼓を通じた学びを提供できるように活動していきたいと思っています。

「トキと共生する佐渡の里山」を学ぶ

トキと共生する佐渡の里山

佐渡は国際保護鳥「トキ」を環境保全のシンボルとし、野生に復帰させる取り組みを行っています。

「トキだけでなく、人にも・自然にも優しい環境づくり」を目指す佐渡の人々の取り組みは世界農業遺産(GIAHS)にも認定され、世界の持続可能な観光地100選の選定の際にも評価を得ています。

里山の維持は「トキのため」ではなく、私達人間の生活にもかかわっています。地元の方々の講演や意見交換などを通して持続可能な農業や環境整備について学びます。

- トキ資料展示館見学や野生のトキの観察
- トキの野生復帰、農業専門家や農業従事者から話を聞く
- 農作業体験
- トキガイドによる説明や周辺散策
- 佐渡米を使った料理体験

対応SDGs目標

2 3 4 8 9 11 12 15



STORY/02

生椿の自然を守る会 会長
高野 毅 さん



父親の高治が佐渡トキ保護センターの飼育員をはじめた昭和42年から、それまで父が行っていた農業、生椿のトキの飼場の管理を少しずつ支援しはじめ、57歳のとき、父の遺志を受け継いで、本格的に環境への取り組みを始めました。その頃から生椿の景観を守る取り組みも広がり、島内外から視察やお手伝いしたいという要望が増えました。そして父の思いで少しでも安全なものを食べたいと、平成23年から有機農業を始めました。生椿の棚田は広く、自分なりに悪戦苦闘しながら、皆の協力が得られるようになるまでこの広範囲の田をひとりで守ることに苦勞がありました。

いつまでも自然とともに**安心安全**で生きられる空間整備を図っていきたい。生きるために食べる。食べるためには作る…

自然の摂理をうまく利用しながら、自然の恵みを有効に取り入れて生活していくスタイルを、みんなで共有できる社会でありたいと思っています。

「島の伝統と継承」を学ぶ

文化・芸能

佐渡には金鑛山の隆盛・北前船の寄港による文化や芸能が、世代から世代へ受け継がれ、今も人々の暮らしに溶け込んでいます。また伝統工芸品も数多く存在し、その作品群は訪れる人々を魅了しています。伝統の保全と活用を考えます。

高で息づく伝統を守り、継承、発展させていく人々に出会うことができます。体験やワークショップでは、五感を感じて理解を深めます。



- 島の伝統工芸品(陶芸、竹細工)の継承者より話を聞く
- 伝統工芸品のものづくり体験
- 伝統芸能(鬼太鼓・文弥人形・能楽・鬼太鼓・佐渡おけさ等)のワークショップ

対応SDGs目標 4 8 9 11 12 15



STORY/03

北沢窯
無名異焼職人

其田 弘輔 さん

佐渡島で生まれ、幼い頃は青森で育ちました。無名異焼職人だった父から、職人の後継者がおらずこのままの状況が続けば窯がなくなるとい話を聞き、23歳の頃Uターンで佐渡へ戻ってきました。

それから10年ほどたちますが、今は観光のお客様や学生向けの体験の指導と作品づくりのほかに、外部の異業種の方と積極的にコンタクトを取りながら、無名異焼の普及活動をしています。

無名異焼は佐渡の希少な土を使って作られているのですが、その土は島外に持ち出すことが禁じられており、自分たちしか土を触れないというところが魅力。また、フリーカップなど、今の時代に合うものを作ること、何にでも**可能性**があり面白いです。そして無名異焼を通じて、新潟のシェフや瓦屋さん、居酒屋さんなど、違う業界の人と**繋がる**ことがとても楽しいです。邪道と思われても、今のスタイルが楽しいですね。ぜひ多くの方にこの無名異焼を使ってほしいと思っています。

「佐渡金鑛山」から学ぶ地域活性化

佐渡金鑛山のまちづくり



STORY/04

相川車座
根岸 建次 さん

私は佐渡の相川で建築資材販売の会社を営んでいます。ある時、地元祭りで観光客を集落の集いに誘ったところ「今まで日本中旅行に行ったが、こんなに仲良くしてくれた地域は初めてだ」と言われました。結果的にその方はその年に3度も佐渡へ来てくださり、また5年後には佐渡に移住することとなりました。この出来事をきっかけに、**観光リピートから移住につなげる事ができる**と考え、現在に至るまで観光客に対して様々なアプローチをしています。また、まちづくりを行う地域企業として「相川車座」が設立され、現在はまちづくりのフレームを**自分達の地域にあったやり方**へと変換しながら、古民家活用や地域活性化を進めています。

- 相川地区をはじめとした佐渡金鑛山の歴史を学び、町の活性化に関わる人達に話を聞く
- 史跡見学や町並み散策

対応SDGs目標 4 7 8 9 11 12

江戸時代初期に相川の金鑛山の開発が本格化すると、佐渡は徳川幕府の直轄地となりました。相川地区は約400年の探掘の歴史の中で様々な遺産が残り、幕府による計画的なまちづくりの姿もみることができます。

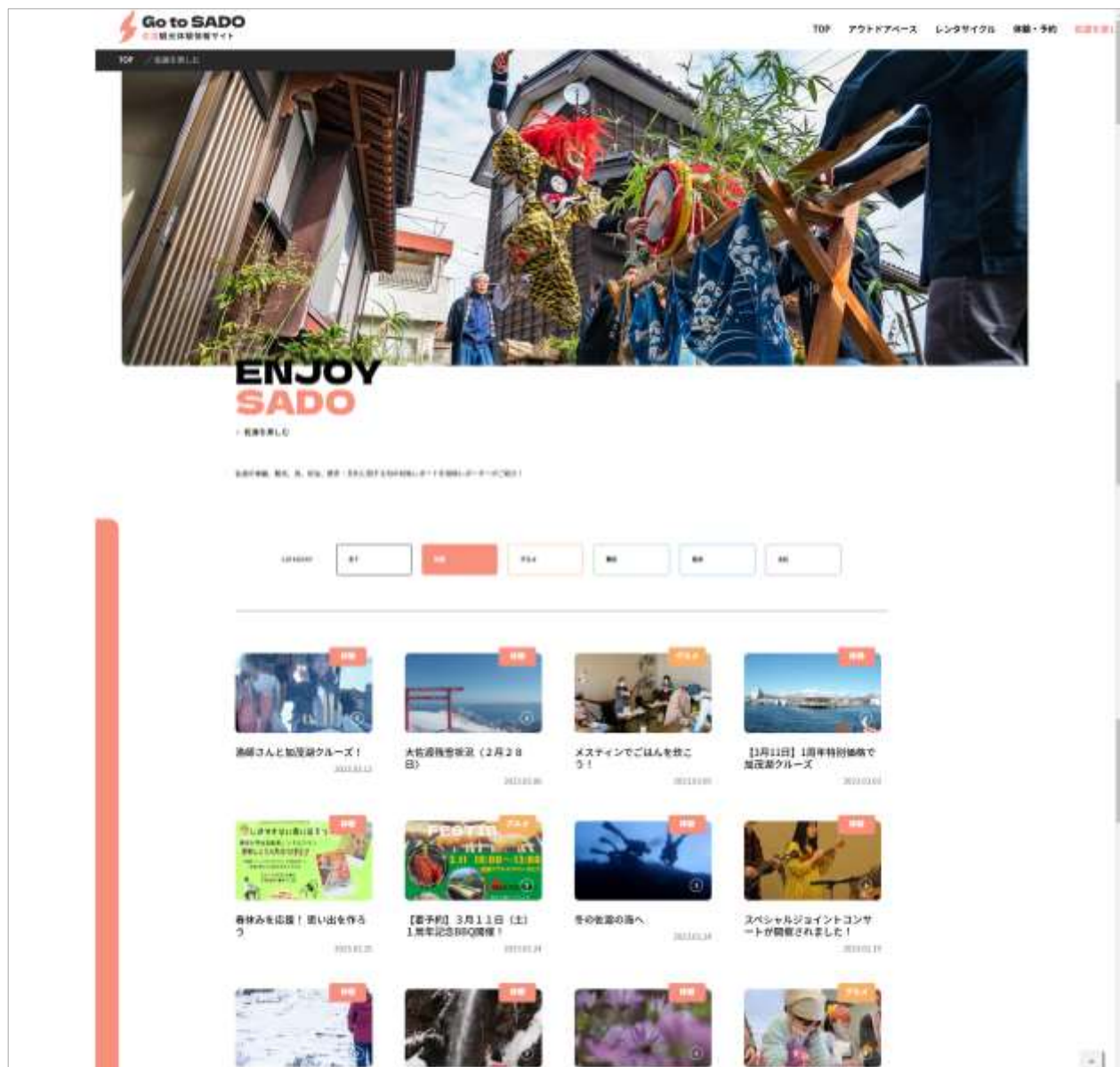
そして今、町並みの保全と活用に若いメンバーが動き出しました。

地域活性化をテーマとしたチームビルディングについて学んだり、観光の種を蒔き、地元の方々との協働にも期待できます。



2. 環境分析・戦略策定

- 主催：佐渡アウトドアベース『ENJOY SADO体験プラン』



⑤その他滞在中のインフラ等

● 交通

・路線バス「新潟交通佐渡株式会社 (<http://www.sado-bus.com/>) 」



※新潟交通佐渡株式会社HPより

島内中心の「本線」は約30分に1本、他は1時間に1本程度

- ・タクシー：島内中心部は複数のタクシー会社が選択可能
新潟交通タクシー (<http://www.sado-bus.com/taxi/>)
港タクシー (<https://itp.ne.jp/info/152520497000000899/>)
おけさ観光タクシー (<https://www.okesa-taxi.jp/>)
- ・レンタカー
佐渡アイランドレンタカー (<https://www.island-rentacar.com/>)
気軽にレンタカー (<https://kigaruni-cars.jp/>)
佐渡汽船レンタカー (<https://www.sadokan.co.jp/rentacar/>)
タイムズ (<https://rental.timescar.jp/niigata/shop/1503/>)
トヨタレンタカー
([\)
ニッポンレンタカー
\(<https://www.nipponrentacar.co.jp/shop/area/niigata/sadogashima.html>\)
ニコニコ \(<https://www.2525r.com/niigata/sado/store-01138-001.html>\)
渡辺産商レンタカー \(<https://ws-rentacar.com/>\)
TOKIレンタカー \(<https://tokirentacar.jimdofree.com/>\)
佐渡レンタカー \(<http://sadorentacar.html.xdomain.jp/>\)](https://rent.toyota.co.jp/shop/detail.aspx?rCode=63801&eCode=008&udFlg=2&lat=137082617&lon=498385921&mode=)

2. 環境分析・戦略策定

・レンタルバイク

・ローズ・レンタル

〒952-0014 新潟県佐渡市 両津湊 134-1
(<http://www.e-sadonet.tv/roserent/>)



※画像は佐渡観光ナビより

・レンタサイクル

・佐渡観光情報案内所

・南佐渡観光案内所

・相川観光案内所 各所でレンタル可



※画像は公式サイトより

● 買い物施設

普段使い

・佐渡セントラルタウン（新潟県佐渡市窪田6-2）

・ひらせいホームセンター 佐渡店（〒952-1212 佐渡市泉字小又1036）

・フレッシュマツヤ（ローカルチェーン）

佐和田店（〒952-1306 新潟県佐渡市長木841）

金井店（〒952-1212 新潟県佐渡市泉456）

両津店（〒952-0028 新潟県佐渡市加茂歌代447）

真野店（〒952-0318 新潟県佐渡市真野新町469）

・コメリ

佐和田店（〒952-1324 新潟県佐渡市中原4-1）

新穂店（〒952-0109 新潟県佐渡市新穂大野1191-4）

羽茂店（〒952-0504 新潟県佐渡市羽茂本郷44-1）



※画像は佐渡観光ナビより



※画像は公式サイトより

お土産

・シータウン商店街（〒952-0014 新潟県佐渡市 両津湊 353-1）

・おみやげ市場 小木家（〒952-0604 新潟県佐渡市 小木町 1950-7）

・（有）齋藤農園（〒952-0102 新潟県佐渡市新穂青木 667-1）

・尾畑酒造（〒952-0318 新潟県佐渡市 真野新町 449）

・佐渡西三川ゴールドパーク（〒952-0434 新潟県佐渡市西三川 835-1）

2. 環境分析・戦略策定

⑤ 観光要素

トリップアドバイザー口コミ調査より、上位20位の観光地点を抽出。

スポット名	住所	日本語	英語	簡体字	繁体字
史跡 佐渡金山	新潟県佐渡市下相川 1 3 0 5	256	32	0	4
佐渡汽船	新潟県佐渡市両津湊 3 5 3	201	11	0	1
トキの森公園	新潟県佐渡市新穂長畝 3 8 3-2	175	11	0	0
尖閣湾	新潟県佐渡市小木町 1 9 3 5-2 6	114	10	0	0
宿根木	新潟県佐渡市小木町 1 9 3 5-2 6	107	19	0	0
大野亀	新潟県佐渡市願	76	6	0	0
北沢浮遊選鉱場跡	新潟県佐渡市相川北沢町 3-2	75	7	0	0
佐渡西三川ゴールドパーク	新潟県佐渡市西三川 8 3 5-1	73	4	0	1
大佐渡スカイライン	新潟県佐渡市小木町 1 9 3 5-2 6	69	3	0	0
二ツ亀海水浴場	新潟県佐渡市鷺崎	64	7	0	1
佐渡奉行所	新潟県佐渡市相川広間町 1-1	62	2	0	0
矢島 経島	新潟県佐渡市小木	54	6	0	3
佐渡歴史伝説館	新潟県佐渡市真野 6 5 5	54	1	0	0
妙宣寺	新潟県佐渡市阿仏坊 2 9	45	5	0	0
力屋観光汽船	新潟県佐渡市小木町 1 9 3 5	35	2	0	1
七浦海岸	新潟県佐渡市小木町 1 9 3 5-2 6	25	2	0	0
両津港	新潟県佐渡市両津湊 3 5 3 番地	21	1	0	0
佐和田海水浴場	新潟県佐渡市河原田諏訪 町 1 8 6	20	1	0	0
佐渡国小木民俗博物館	新潟県佐渡市宿根木 2 7 0-2	19	7	0	0
弾埼灯台	新潟県佐渡市鷺崎 2 8 9 -1	18	0	0	0

3. 具体的な取組案

3. 具体的な取組案

(1) 取組概要

調査からみる課題の整理

マーケティング調査より(企業ヒアリング)

- 「ワーケーションの地としての特徴がみえること」「利用する会社のメリット(遊びに金を出すことへの抵抗感の排除)」をしっかりと打ち出す必要がある。
- ワーケーションを活用した来訪者にアクティビティを使ってもらう準備をしておくことが重要。
- 自己承認と他者貢献を可能にする情報提供を仕組み化しておく必要がある。
- 親子ワーケーションはリピーターになりやすい。子供連れの旅行は制限が多く実施することが難しい。受入側のサポートを求められている。
- 地域への『移住』を目指したワーケーションは1泊2日のような短い企業研修ではなく、長期間地域と関わることを目的としてワーケーションを推進している。

マーケティング調査より(企業ヒアリング)

- 幅広に大企業向けにワーケーションをアプローチするのではなく、コワーキングスペースと長期滞在型ホテル等の資源をうまく活用して、佐渡に親和性の高い企業からアプローチを実施するのが望ましい。
- 「大企業」×「大企業」のワーケーション、は社員を送り出す企業としてもビジネスに繋がる可能性を見出すことができる(企業型ワーケーションは誰と行くかも重要)。
- 多拠点居住を行っている人に佐渡を知ってもらい、佐渡の魅力を発信してもらうことでコミュニティが広がっていく。
- SADO-X部が佐渡市民を巻き込んだ取り組みとして島外・島内のプラットフォームになるとよい。
- 各社が持っている法人向けのワーケーション(JREワーケーションパスなど)を組み合わせて、首都圏から送り出し、地域はアクティビティを整理し、提供するしくみがあるとよい。

マーケティング調査より(企業ヒアリング)

- 『若手起業家』をターゲットとした、ワーケーションを推進することで佐渡市で実施しているビジネスコンテストへつながるような取組となるのではないかと。※制度を知らずに起業を学ぶ合宿をする。
- 創業支援が定着するための支援につなげる。
 - 移住に至っていないという課題がある。
 - ⇒起業家合宿プログラムに佐渡のリソース探しを組み込むことで共業に向けた移住・定着に繋がるのではないかと。

台湾現地アンケート調査より

- チームで行うワーケーションへの興味については、「興味がある」(30.8%)、「どちらかといえば興味がある」(44.7%)を合計75.4%と高い割合を占めた。地域課題の解決策を共に考えるような働き方への興味については、「興味がある」(33.2%)、「どちらかといえば興味がある」(49.8%)が8割程度で興味関心が高い。
- ワーケーション時に仕事面に関心があることについて最も高いのは、「リラックスできる環境でのデスクワーク」(63.1%)。次いで「家族サービスをしながらの業務」(44.5%)、「ワーケーション滞在先の地域関係者などとの交流」(37.8%)、「温泉やアクティビティなどオフィスでは実現できないような気分転換」(36.1%)と続く。

マーケティング調査より(企業ヒアリング)

- 佐渡は遠いイメージはあるが実際に来てみると近く感じる(朝出発すると昼過ぎには到着する)。しかし、コストは新幹線と船を乗り継ぐと片道18,000円程度かかる。格安航空チケットに近い金額となるので、おなじ費用をかけて佐渡は選ばれなくなってしまう。コスト面でも優位性を出す必要がある。

具体的な取り組み策

佐渡島内の『コンシェルジュ機能』の実装と『居心地の良く話しやすい環境』づくり

- 親子ワーケーションの受け入れ整備。
- 長期滞在の宿泊先(法人プラン)の整備。
- SADOワーケーションのコンシェルジュ機能の強化。
- 受入先としてのコミュニティ連携、組織化。
- SADOワーケーションのプラットフォームとなる特設サイト。

島外からSADOワーケーションの魅力を発信するコミュニティの形成

- ADDRESS会員を中心としたアドレスホッパーコミュニティとの連携したプロモーション展開。
- 佐渡にゆかりのある企業やビジネス展開を目論む企業、包括連携を結ぶ企業のネットワーク化を実施。

『SDGs未来都市』と起業成功率No.1の島

スナップ新潟との連携による「若手起業家合宿」の推進

- 若手起業家と佐渡で成功している起業家との交流会を実施。また、佐渡で地域課題を見つけて自身の起業へつなげてもらう。
- 学校蔵コワーキングスペースを活用した資源・エネルギー・ヒト・企業を循環させるサステナブル研修を実施。

アジア圏のデジタルノマドを取り込んだ「SADOワーケーションの聖地」化

ワーケーションの誘致のひとつとしてデジタルノマドをターゲットに、インバウンド誘致を実施する。SADOワーケーションを切り口に「SADOデジタルノマド」をテーマとした環境整備とプロモーションを展開。

離れてもつながり続ける場づくり

離島であることを感じさせない、「遠い」イメージの払拭と通い続けることのできる環境づくり。

- JREワーケーションパスの活用
- ワーケーション受入に向けて佐渡汽船と連携

3. 具体的な取組案

① 佐渡島内の『コンシェルジュ機能』の実装と『居心地の良く話しやすい環境』づくり

佐渡でのワーケーションを受け入れるコミュニティ(体制)づくり

- ・ 親子ワーケーションの受け入れ
⇒ 株式会社キッチンハイクと連携
- ・ 長期滞在の宿泊先(法人プラン)
⇒ 株式会社ADDRESSと連携
- ・ SADOワーケーションの調整
⇒ SADO PORT LOUNGE
- ・ 受入先としてのコミュニティ連携
⇒ 組織化
 - ↳ 体験・アクティビティ
 - ↳ 学び・研修
 - ↳ キーマンとの出会い
- ・ SADOワーケーションのプラットフォームとなる特設サイト

④ アジア圏のデジタルノマドを取り込んだ「SADOワーケーションの聖地」化

デジタルノマドの取込

ワーケーションの誘致のひとつとしてデジタルノマドをターゲットに、インバウンド誘致を実施する。SADOワーケーションを切り口に「SADOデジタルノマド」をテーマとした環境整備とプロモーションを展開。

③ 「SDGs未来都市」と起業成功率No.1の島

佐渡市の魅力を活かしたワーケーションの受け入れ

スナップ新潟との連携による「若手起業家合宿」の推進。

- ・ 若手起業家と佐渡で成功している起業家との交流会を実施。先輩起業家との接点を持つことで自身の起業に役立てる。
- ・ 若手起業家の勉強会を実施。日本の縮図と言われている佐渡で地域課題を見つけて自身の起業へとつなげてもらう。

学校蔵コワーキングスペースを活用した資源・エネルギー・ヒト・企業を循環させるサステナブル研修。

- ・ 廃校になった小学校を酒蔵「学校蔵」として再生させ、資源・エネルギーの循環に取り組みを「学び」や「体験」を通してチームビルディングを行う。

⑤ 離れてもつながり続ける場づくり

交通面でのサポート

離島であることを感じさせない、「遠い」イメージの払拭と通い続けることのできる環境づくり。

- ・ JREワーケーションパスの活用。
- ・ ワーケーション受入のための佐渡汽船との連携。

② 島外からSADOワーケーションの魅力を発信するコミュニティの形成

佐渡でのワーケーションの魅力を伝える島外ネットワークの形成

ADDRESS会員を中心としたアドレスホッパーコミュニティと連携したプロモーションを展開。
佐渡の魅力を語れる『SADO-X部』※の創設とネットワークの深度化を図る。
※ SADO×○○(個人の活動)から生み出される佐渡の魅力を伝播させるネットワーク。

佐渡にゆかりのある企業やビジネス展開を目論む企業、包括連携を結ぶ企業のネットワーク化を実施。

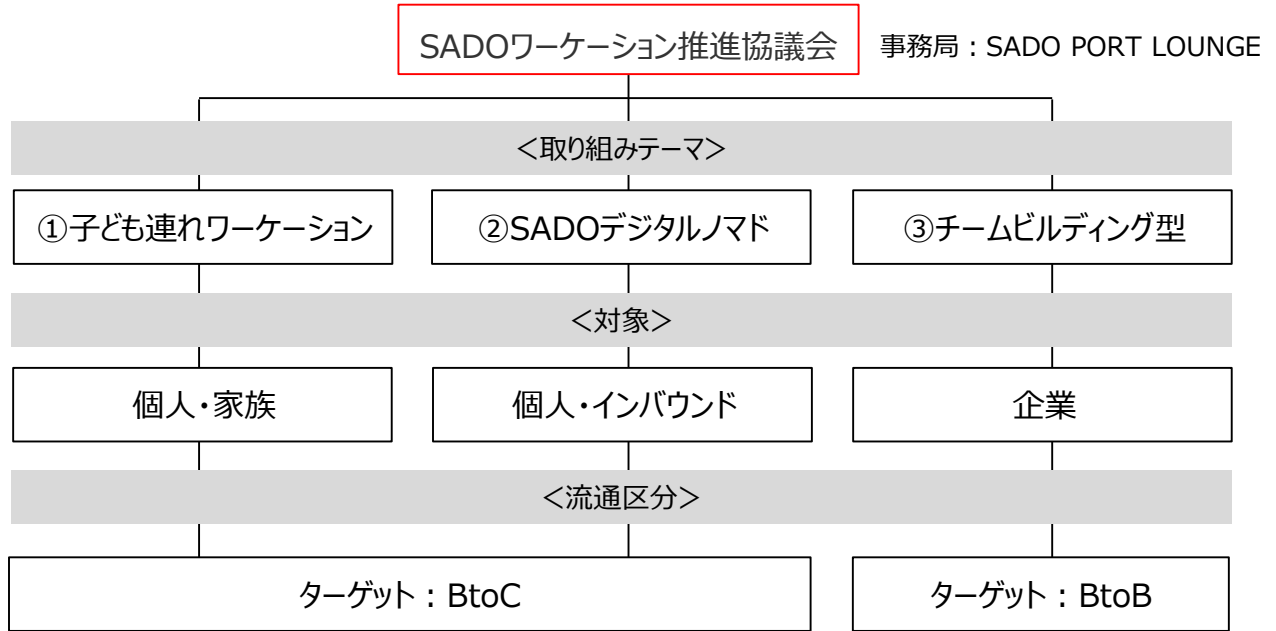
- ・ 富士通JAPAN株式会社
- ・ NTT東日本
- ・ 株式会社JTБ
- ・ サンフロンティア不動産株式会社
- ・ 株式会社ダイヤメット

3. 具体的な取組案

(2) 実施体制案

取組み3テーマを総括的に議論する「SADOワーケーション推進協議会」を設立し、流通区分の「BtoC部会」「BtoB」部会で個別の議論を進める体制とする。

- ✓ 部会は不定期で検討会を実施
- ✓ 推進協議会は月一定例会議を開催



BtoC部会

地元の受入れ事業者、株式会社キッチンハイク、株式会社ADDRESS等を中心に協議を重ね取組み内容を固めていく。

主プレイヤー（外部）

- ・ キッチンハイク
- ・ ADDRESS
- ・ 富士通JAPAN

主プレイヤー（内部）

- ・ 佐渡観光交流機構
- ・ 佐渡アウトドアベース
- ・ 敷島荘
- ・ ほてる志い屋
- ・ 伊藤屋
- ・ HOSTEL perch
- ・ ゲストハウスUZU佐渡
- ・ SADO PORT LOUNGE

他

BtoB部会

地元の受入れ事業者、包括企業を中心に協議を重ね取組み内容を固めていく。

主プレイヤー（外部）

- ・ JR東日本
- ・ NTT東日本
- ・ 富士通ワークスタイル戦略室
- ・ JTB新潟支店

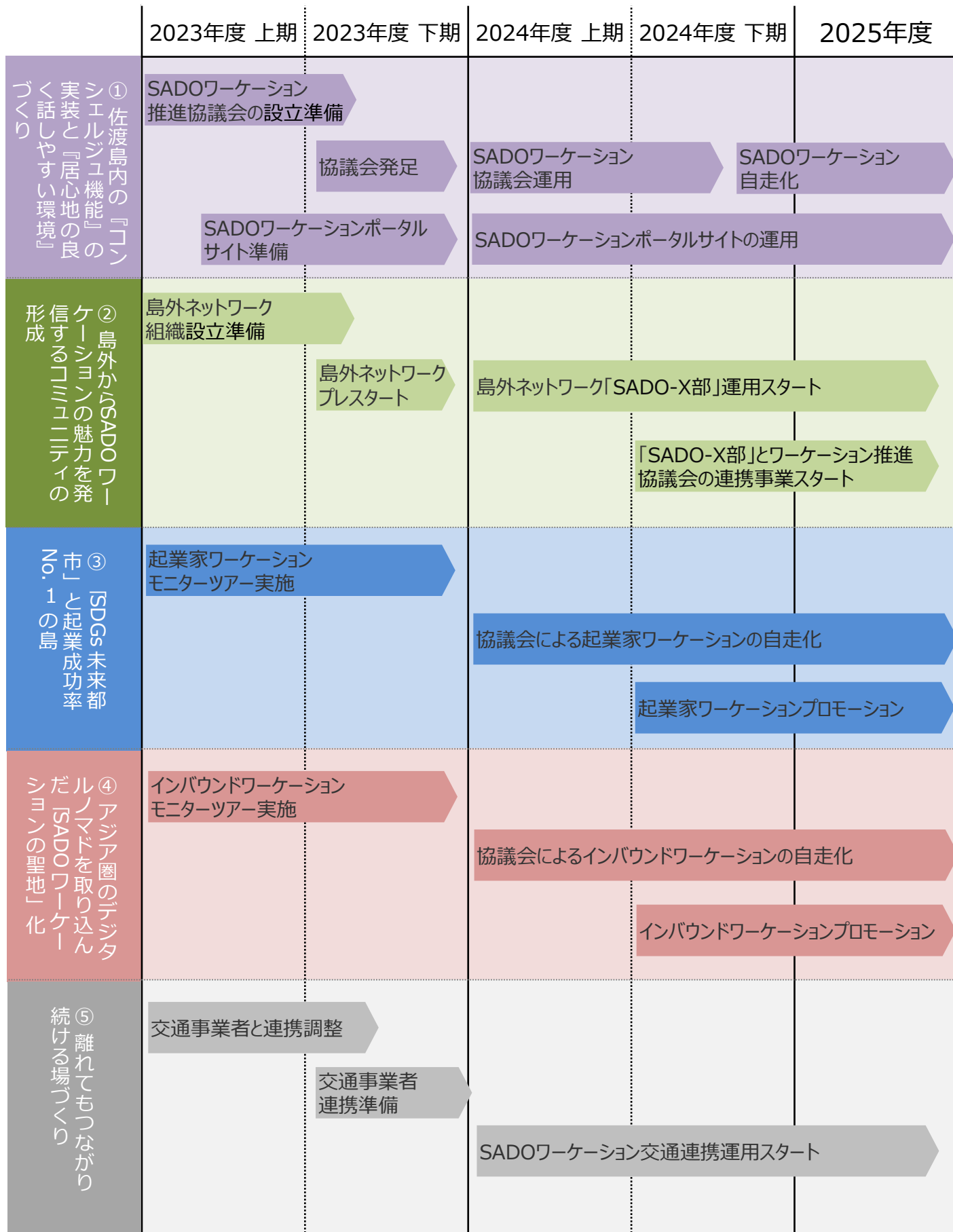
主プレイヤー（内部）

- ・ REBIRTH佐渡ワーケーションプレイス
- ・ Stay & Work 佐渡
- ・ THIRDPLACE
- ・ たたこう館
- ・ HOSTEL perch
- ・ SADO PORT LOUNGE
- ・ 学校蔵

他

3. 具体的な取組案

(3) SADOワーケーションのロードマップ



3. 具体的な取組案

(4) SADOワーケーション移住に向けたステップ

SADOワーケーション推進にあたっては、ワーケーション体験を移住への興味関心づくり、きっかけづくりを行うことを念頭に進めていく。

SADOワーケーションを通じて佐渡での**ビジネスのメリット**を訴求

STEP 01

佐渡市来訪の
きっかけづくり

「チームビルディング型ワーケーション」

- ①佐渡市とゆかりのある企業を中心としたチームビルディング型ワーケーションの推進
- ②スナップ新潟との連携による若手起業家向けのワーケーションを推進。

STEP 02

佐渡市への継
続来訪

「デジタルノマド」

ADDressの会員サービスを連携することで佐渡でワーケーションの魅力を感じてもらう

「親子ワーケーション」

キッチハイクの保育園留学と連携することで佐渡での働きやすさ、移動のしやすさを提供

STEP 03

移住・定住へ

継続訪問を繰り返すことで、佐渡への暮らしやビジネスを深度化させ移住・定住につなげていく

3. 具体的な取組案

(5) SADOワーケーションの具体策

① 佐渡島内の『コンシェルジュ機能』の実装と『居心地の良く話しやすい環境』づくり

- 株式会社キッチハイクと連携した親子ワーケーションの受け入れ
 - ↳ 親子でワーケーションを受け入れ環境を整備することで佐渡での働きやすさを体感していただく。

- 株式会社ADDRESSの長期滞在の宿泊先(法人プラン)と連携
 - ↳ 佐渡市のADDRESSの宿泊先を法人プランを活用することで島内を居心地の良い環境づくりを実施

- SADOワーケーションのプラットフォームとなる特設サイトによる情報提供
 - ↳ ワーケーション施設の情報に留まらない創業から移住までをカバーする特設サイトの開設



SADOワーケーション推進協議会の運用

体験・アクティビティ、学び・研修、キーマンとの出会いを提供することで
コンシェルジュ機能の実装と環境づくりを実施

3. 具体的な取組案

② 島外からSADOワーケーションの魅力を発信するコミュニティの形成

ADDress会員を中心とした佐渡ワーケーションの魅せられた方々を中心に『SADO-X部』を創設。佐渡の魅力を発信するためのコミュニティとして連携した情報発信を実施。

※ SADO×○○(個人の活動)から生み出される佐渡の魅力を伝播させるネットワーク



佐渡にゆかりのある企業やビジネス展開を目論む企業、包括連携を結ぶ企業のネットワーク化を実施。企業研修型のワーケーションの誘致を行う。

- ・ 富士通JAPAN株式会社
- ・ NTT東日本
- ・ 株式会社JTB
- ・ サンフロンティア不動産株式会社
- ・ 株式会社ダイヤモンド

等々ハアプローチ

3. 具体的な取組案

③ 起業成功率No.1の島を目指して

●「チームビルディング型ワーケーション」具体案

① 起業家合宿を実施

- ・ 佐渡ビジネスコンテスト
- ・ 佐渡での起業につなげる
- ・ 制度を知りながら起業を学ぶ合宿をする。
- ・ ワーケーションで若者を誘致する(関係人口の構築)

●若い起業家の合宿を誘致 『若手起業家の誘致』

- ・ スナップ新潟と連携して実施する若手起業家ワーケーション

●起業した人との情報交換会でリフレッシュワーケーション(1週間)

- ・ 地域によって旅費サポートを実施する(スナップコインでサポート)
- ・ これから起業は1週間合宿 ⇒ ビジネスコンテストに繋げる
- ・ 地域によって旅費サポートを実施する(スナップコインでサポート)
- ・ 「起業した人の悩み相談する会」や「これからの起業家と先輩経営者との交流する会」を実施する
- ・ 地元の人を巻き込むことを必須とする

●関岬のオートキャンプ場を整備して企業合宿を整理

- ・ キャンプ+チームビルディング型のワーケーション



**佐渡市内で「チームビルディング型ワーケーション」を推進するためには、
実施可能な施設の情報の集約と、検討企業の問合せに対応するための受付窓口が必要となる**



SADOワーケーション推進協議会の運用

3. 具体的な取組案

●「チームビルディング型ワーケーション」具体案

② サステイナブルなチームビルディング型ワーケーション

廃校になった小学校を酒蔵「学校蔵」として再生させ、資源・エネルギーの循環を通し「学び」や「体験」また「フードロス」への取り組みを、長期滞在用の宿泊設備も有する「学校蔵コワーキングスペース」を活用して、サステイナブルなチームビルディング型ワーケーションを実施する。

資源・エネルギー・ヒト・企業を循環させるサステイナブルブリュアリー学校蔵コワーキングスペース

事業概要

廃校になった小学校を酒蔵「学校蔵」として再生させ、資源・エネルギーの循環に取り組むとともに、「学び」「体験」、その圧倒的な景観を活かしたcaféをオープンし「フードロス」に取り組み、長期滞在用の宿泊設備も整備した。

また、大学の研究拠点や多様な企業との交流が進んでいることから、あえて個々のオフィスではなく、テーマを【異なるバックグラウンドを持つ人たちが「混ざる」場づくり】としたコワーキング環境を整備し、企業等の進出と定着、更に新たな時代の新たな価値を創造していく拠点としていく。



<3年A組=オープン・コワーキングスペース> ※1階



<「遊びBar」=クローズド・コワーキングスペース> ※2階



<校庭リフレッシュスペース> ※付帯施設

3. 具体的な取組案

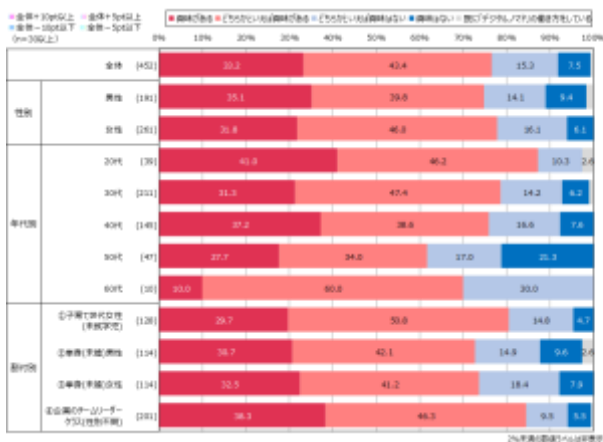
④ アジア圏のデジタルノマドを取り込んだ「SADOワーケーションの聖地」化

台湾のWEB調査ではデジタルノマドに興味のがあるとの回答が8割弱と高い数値となっている。

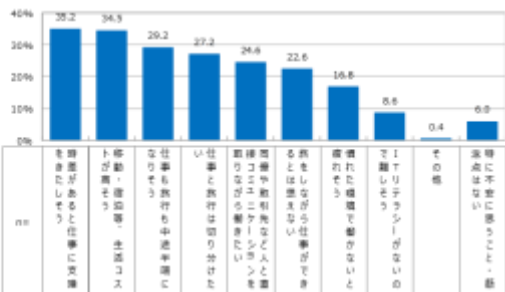
そこで台湾向けのワーケーションモニターツアーを実施することで、『佐渡＝ワーケーション』の意識づけを行う。

「デジタルノマド」の働き方をするとした場合、不安に思うこと・懸念点を教えてください。

あなたは、「デジタルノマド」という働き方に興味はありますか。



興味がある	興味はない
76.5	23.5
74.9	25.1
77.8	22.2
67.2	32.8
78.7	21.3
75.9	24.1
41.7	58.3
70.0	30.0
80.5	19.5
72.8	27.2
73.7	26.3
84.4	15.6



性別	興味がある	興味はない
全体	402	25.2
男性	191	34.0
女性	260	36.0
年代別		
20代	39	41.0
30代	213	38.4
40代	149	32.4
50代	40	25.3
60代	18	30.0
職別別		
子育て世代女性 (専業主婦)	128	35.9
企業員(未婚)男性	114	36.0
企業員(未婚)女性	114	36.8
専業主婦(パート/フリーター/役員未満)	200	36.8

⑤ 離れてもつながり続ける場づくり

JR東日本や佐渡汽船等の交通事業と連携した移動のしやすさ、通い続けることのできる場づくりを実施。

JRE Workation Pass 法人向け

軽井沢コース

1口 100万円(税込)

- 新幹線往復×100回
- 宿泊×30回
- STATION WORK利用×150時間

3. 具体的な取組案

(6) SADO PORT LOUNGEの活用

■ SADOワーケーションの情報集約拠点を設置

SADOワーケーションの情報集約やコンシェルジュ機能を持たせたWEBサイトを公開

- ・ 佐渡市HPではなく、今後民間の中間支援団体に機能を持たせることを想定して民間のHP上での拡充として公開する

■ SADOワーケーションをきっかけとしたSADO PORT LOUNGEの新たな価値創出

ステップ1：企業が効果的な研修型・チームビルディング型ワーケーションを実施するために、来島企業が望んでいる企業の要望と地域課題をマッチングする。

【コンシェルジュ機能】

ステップ2：企業型ワーケーションで、非日常から生まれるコミュニケーションと魅力的なチームビルディングの場の提供による、次なる来島への動機づけ。

【居心地の良い話しやすい環境づくり】

ステップ3：SADOワーケーション実施後も島内の方と目的・テーマを提供しコミュニティを形成することで継続的な来島の目的を創出する。

【離れてもつながり続ける場づくり】



SADOワーケーションを契機として一過性で
終わらない拠点として機能強化

4. SADO PORT LOUNGE フィジビリティスタディ

4. SADO PORT LOUNGEフィジビリティスタディ

(1) SADO PORT LOUNGE利用価値創出のための実証実験

「SADO PORT LOUNGE」における新たな価値創造の提案と実証業務

SADO PORT LOUNGEが、SADOワーケーションの中核を担う施設としてどのような機能を有することで、より効果を発揮することができるのか実証実験を実施する。

2022年12月1日～2023年1月30日の期間に島外からの利用者に対してアンケートを実施。また首都圏在住者を中心にWEBアンケートを実施した。佐渡でビジネスをする魅力は、島外利用者、WEBアンケート共に「自然にあふれている」との回答が3割、両調査ともにトップの回答となっている。このことから、佐渡の自然への魅力を感じている人は多い。

しかし、利用者アンケート・WEBアンケートによるとコワーキングスペース選びで重要視するポイントでアクセスの良さに関して一定数の要望があり、WEBアンケートの佐渡でのビジネスの課題として「移動の不便さ」、「東京からのアクセスの悪さ」「地理的に遠く、何かあった時に島なので不自由さが心配」との距離の課題に対する回答が多くみられた。期待感として「企業と企業をつなぎビジネスに発展させること」や「新たな産業の起点となるとよい」などの回答もいただいている。

そこで今回は、佐渡の魅力である自然を感じることでできる空間づくりとして「ラウンジシェル(テント会議)・疑似焚火セット(焚火テーブル)」、アクセスが悪くてもつながりを作ることでできるしくみとして、「VIRTUAL SADO PORT LOUNGE」を導入し実証実験を行う。

■ 佐渡市でビジネスを考えたときに魅力となるポイント

SADO PORT LOUNGE島外利用者アンケート

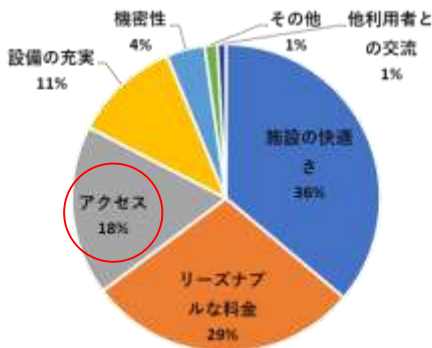


首都圏WEBアンケート

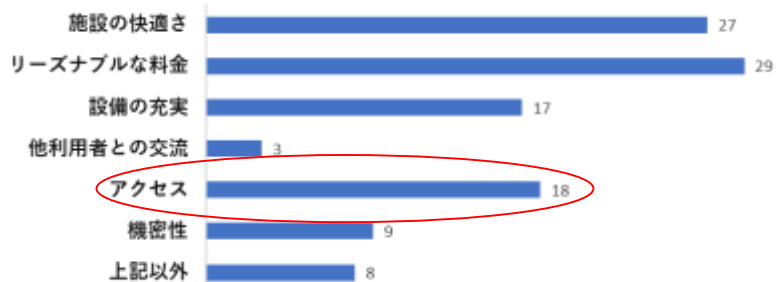


■ コワーキングスペース選びに最も重要視すること

SADO PORT LOUNGE島外利用者アンケート



首都圏WEBアンケート



4. SADO PORT LOUNGEフィジビリティスタディ

ラウンジシェル(テント会議)・疑似焚火セット(焚火テーブル)の実施

設置日 2023年2月1日(水)～

設置内容 snowpeak ラウンジシェル・焚火セット

設置目的 島外利用者、首都圏のアンケートにより「佐渡でビジネスをする魅力」で上位を占めた「自然にあふれている」との回答から**snowpeak社のラウンジシェル・焚火セットを設置。**

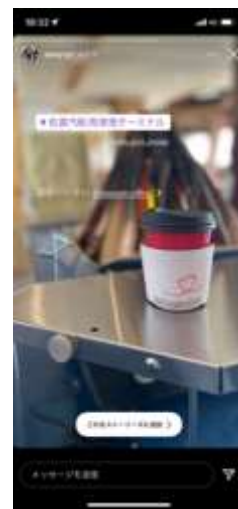
コワーキングスペースにしながら、**佐渡の自然を感じる空間を作ることで、会議での話しやすさの創出やクリエイティブの発想を生む空間づくりを実施。**

今後のワーケーションの実施を踏まえ、ワークショップやチームビルディング研修の開催時にコミュニケーションを活性化させることを目的として設置。



利用者の声

- ・ 焚火テーブルは座り心地がとても良い。書き物は適さないが、話し合いなどはリラックスできてよさそう。
- ・ 焚火テーブルは座り心地が良く、良い案が出そう。テントより焚火テーブルの方が使いやすい。
- ・ テントは温かみを感じる。テントの床のマットがふわふわして踏み心地が良い。
- ・ テントは一人では少し入りづらい。



Instagramのストーリーでも紹介

今後の展開

次年度以降のSADOワーケーションの実施に向けてチームビルディング型のワーケーション誘致のための施設の魅力の一つとして発信する他、島内と島外企業の情報交換の場として幅広く利用していただく。

島外者が佐渡の魅力であると感じている「自然」と「非日常感」を演出することで、利用者の拡大に留まらない新たな価値の創出の場として今後ご利用していただく。

4. SADO PORT LOUNGEフィジビリティスタディ

VIRTUAL SADO PORT LOUNGEの実施

設置日 2023年2月1日(水)～2月28日(火)

設置内容 oViceのヴァーチャルオフィスを利用

設置目的 首都圏のアンケートにより、佐渡でのビジネスの課題として「移動の不便さ」、「東京からのアクセスの悪さ」「地理的に遠く、何かあった時に島なので不自由さが心配」との**アクセスの課題**に対する回答が多くみられた。佐渡へのビジネス期待感として「企業と企業をつなぎビジネスに発展させること」や「新たな産業の起点となる」といなどの回答もあり、**今後SADOワーケーションの実施するにあたり、佐渡のプレイヤーと継続してつながることのできる環境づくり**を目指した取り組みの一つとして、**VIRTUAL SADO PORT LOUNGEを期間限定で開設**し実証を行う。



利用者の声

- ・ 使いこなせていないこともあり、会議としては使いづらい
- ・ 場の提供としては便利ではあるが、どのように使うかの検討は必要。
- ・ 知らない人とつながることが大事であるが、想像以上には声をかけづらい。
- ・ まだまだ、オープンな場(環境)で話をする中で事業を進める土壌ができていない
- ・ 会社や組織(団体や協議会)で使用するほうが良いのではないかと。
- ・ 外部の人が入り利用するためにはルール作りが必要
- ・ 喫煙所で話をするような気軽さはあるが、そのきっかけ(テーマやジャンル)は提供をしないと難しい。

今後の展開

SADOワーケーションを実施するうえで、単発で終わらない継続的なつながりづくりは必要であり、「距離感」を感じさせない気軽なつながりづくりとしてVIRTUAL SADO PORT LOUNGEは役割を果たすことはできるが、事業のマッチングにより新たな価値を創造することを想定すると、コーディネーターが必要であり、テーマやジャンルの提供を行うことで関係性を創出することが重要。SADOワーケーションの実施後に佐渡市のプレイヤーとつながり、さらに佐渡を知るきっかけづくりの場を創出することができ、さらに来島への動機づけとなる取り組みである。